

江戸川区内中小企業の景況について

2022年1月～3月期



江戸川区産業経済部産業経済課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社総合企画

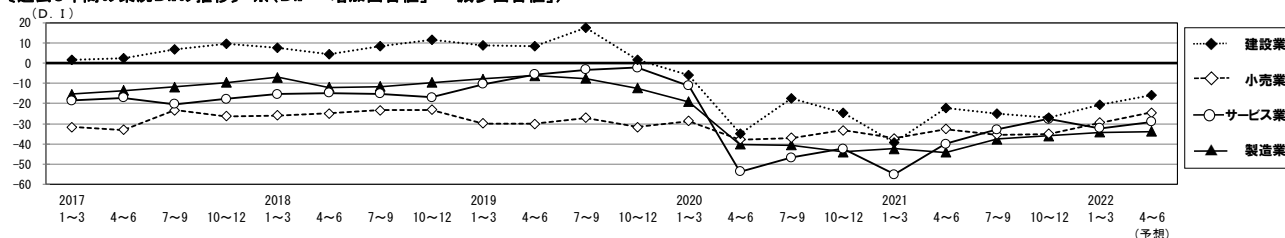
江戸川区内の中小企業の景況（2022年1月～3月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況判断DIは厳しい状況は続くものの、4期連続で良化が続く、
来期は2.1ポイント良化の見込み。**

～建設業で大幅に良化したが、サービス業でやや悪化傾向が強まる。

【過去5年間の業況D.Iの推移】 ※(D.I=「増加回答値」-「減少回答値」)



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は-31.5と依然厳しい状況が続いてはいるものの、前期（-33.0）より1.5ポイント良化した。業種別に見ると、建設業で大きく良化したが、サービス業でやや悪化傾向が強まった。

来期は、小売業、サービス業、建設業で幾分改善が見込まれているため、総合（4業種）では多少良化すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製 造 業	-36.0	-34.2	1.8	-33.8	0.4
小 売 業	-35.1	-29.5	5.6	-24.6	4.9
サービ 業	-27.7	-32.2	-4.5	-29.2	3.0
建 設 業	-27.0	-20.6	6.4	-15.8	4.8
総 合	-33.0	-31.5	1.5	-29.4	2.1

※前期(2021年10～12月) 来期(2022年4～6月)

※「総合」は上記の4業種でのD.I値

<製造業>

業況は前期並の厳しさが続いた。売上額と受注残はやや減少傾向を強め、収益もやや減益傾向が強まった。販売価格は下降傾向が一服、わずかに上昇に転じたが、原材料価格は上昇傾向が大幅に強まり厳しさを増した。原材料在庫数量は2期連続で適正範囲に保たれていたが不足感が現れてきた。

中分類業種別に見ると、「パルプ・紙、印刷、製本業」は良化傾向が多少強まり、「金属製品、建設用金属製品」は低迷が続くものの大きく改善した。「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」と「木材・木製品、家具・装備品」は悪化傾向がやや強まり、「食料品」は悪化傾向が大幅に強まり、「繊維工業、衣服・その他繊維製品」は悪化傾向が極端に強まった。

来期の業況は横這いで推移すると見ている。売上額は減少傾向がやや改善し、収益は減益傾向が大きく改善すると予想している。

<小売業>

業況は厳しい状況は変わらないが2期連続で改善傾向が続いた。売上額は減少傾向が大きく改善し、収益は減益傾向がやや改善した。販売価格と仕入価格は前期並の厳しさを推移した。

中分類業種別に見ると、「飲食料品」は厳しい状況に変わりはないものの悪化傾向は大幅に弱まった。「衣服、呉服、身の回り品」はやや悪化傾向が強まり、「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は大きく悪化傾向が強まった。

来期の業況は幾分持ち直すと予想している。売上額と収益は減少・減益傾向が幾分改善すると予想している。

<サービス業>

業況は悪化傾向がやや強まった。売上額と収益は減少・減益傾向がやや強まった。価格面では、料金価格は大きく上昇し改善したが、材料価格も大幅に上昇し厳しさが増した。

来期の業況は厳しい状況は続くものの幾分改善すると見ており、売上額は減少傾向が大きく改善し、収益は減益傾向が若干改善すると予想している。

<建設業>

業況は厳しいながらも悪化傾向が大きく弱まった。売上額に変化はなく、受注残は減少傾向が大きく強まったが、施工高と収益は減少・減益傾向が大幅に弱まった。価格面では、請負価格は下降傾向がわずかに弱まったが、材料価格はやや上昇して非常に厳しい状態が続いている。

来期の業況は多少持ち直し、売上額、施工高、収益も減少・減益傾向が幾分改善すると見ており、受注残は大幅に改善すると予想している。

※ D. I(Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（ $\Delta 37.6 \rightarrow \Delta 36.0 \rightarrow \Delta 34.2$ ）は前期並の厳しさが続いた。

売上額（ $\Delta 30.7 \rightarrow \Delta 31.8 \rightarrow \Delta 34.2$ ）、受注残（ $\Delta 28.7 \rightarrow \Delta 31.7 \rightarrow \Delta 34.1$ ）、収益（ $\Delta 27.7 \rightarrow \Delta 32.4 \rightarrow \Delta 34.5$ ）はいずれも減少・減益傾向がやや強まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 33.8$ 予想）は横這いで推移すると見ている。売上額（ $\Delta 28.6$ 予想）と受注残（ $\Delta 30.2$ 予想）は減少傾向がやや改善し、収益（ $\Delta 28.2$ 予想）は減益傾向が大きく改善すると予想している。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（ $\Delta 3.3 \rightarrow \Delta 0.8 \rightarrow 3.8$ ）は上昇し好転したが、原材料価格（ $26.7 \rightarrow 30.7 \rightarrow 38.0$ ）も上昇傾向が大きく強まり厳しさを増した。原材料在庫数量（ $\Delta 1.8 \rightarrow \Delta 1.3 \rightarrow \Delta 3.9$ ）は不足感が現れてきた。

来期の見通しについて、販売価格（ 5.7 予想）は横這いで推移し、原材料価格（ 34.6 予想）は上昇傾向が多少弱まると予想している。原材料在庫数量（ $\Delta 2.6$ 予想）は今期並の不足感が続くとは見ている。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 11.8 \rightarrow \Delta 15.4 \rightarrow \Delta 13.6$ ）は前期並の苦しさが続き、借入難易度（ $\Delta 6.3 \rightarrow \Delta 10.1 \rightarrow \Delta 6.4$ ）は厳しさがやや和らいだ。

設備投資を「実施した」企業（ $9.0\% \rightarrow 11.4\% \rightarrow 8.9\%$ ）は前期から2.5ポイント減少した。

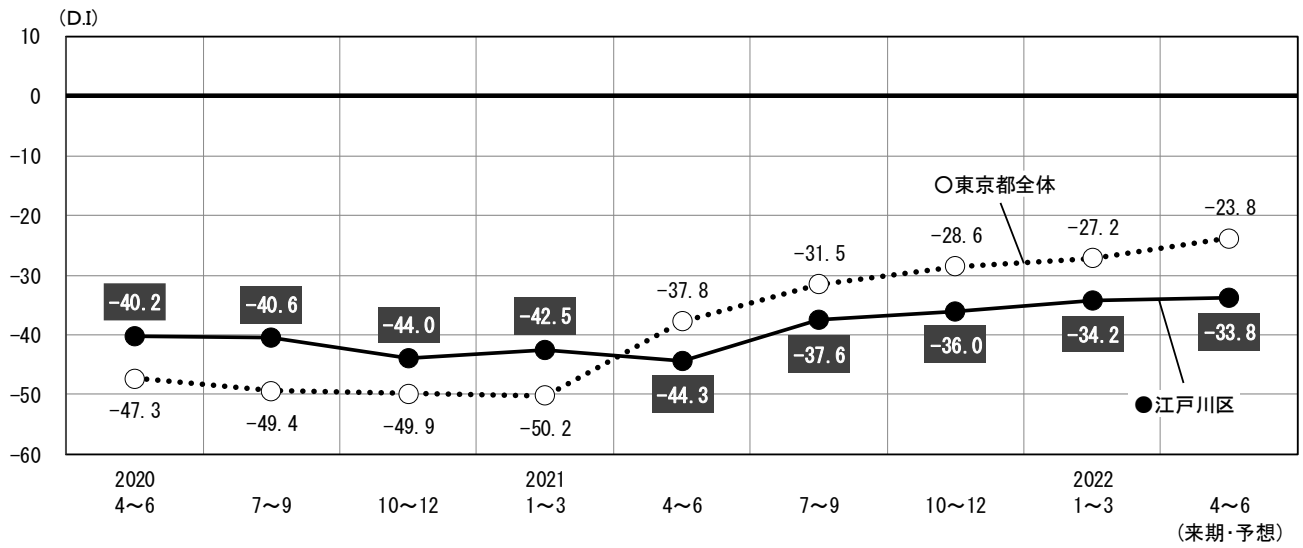
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 11.5$ 予想）は幾分厳しさが和らぐと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

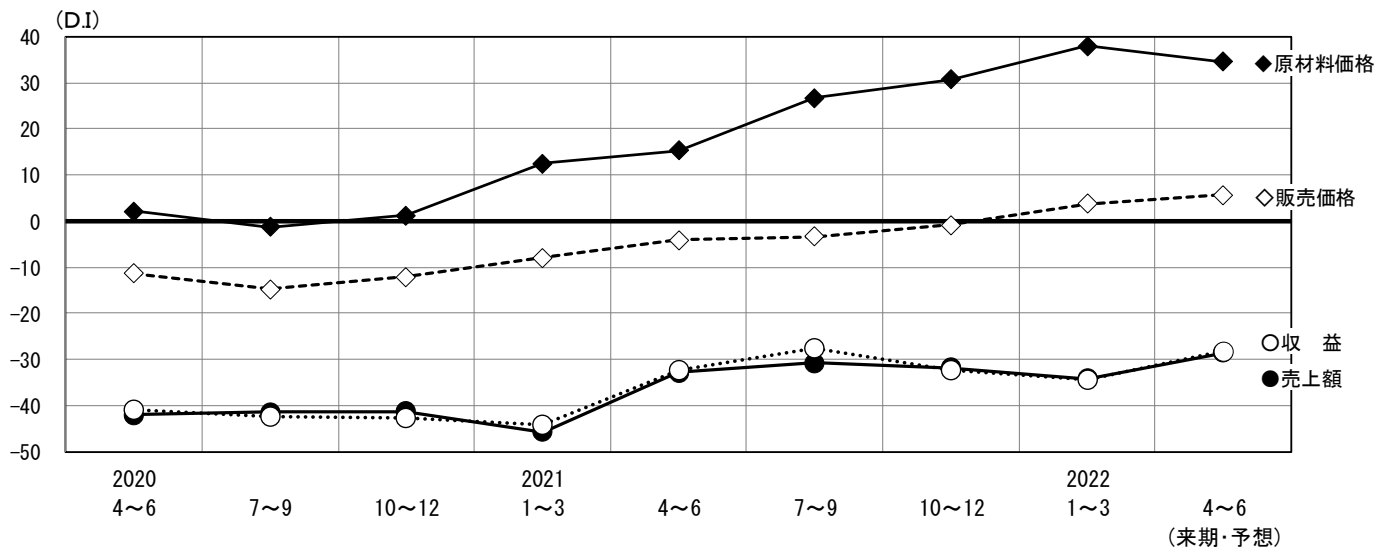
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（52.8%）が今期も最多となった。以下、「原材料高」（31.4%）、「同業者間の競争の激化」、（19.5%）、「利幅の縮小」（15.1%）、「仕入先からの値上げ要請」（13.8%）の順であった。

重点経営施策は、「販路を広げる」（57.9%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（50.3%）、「情報力を強化する」（17.0%）、「新製品・技術を開発する」（9.4%）、「機械化を推進する」（8.2%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

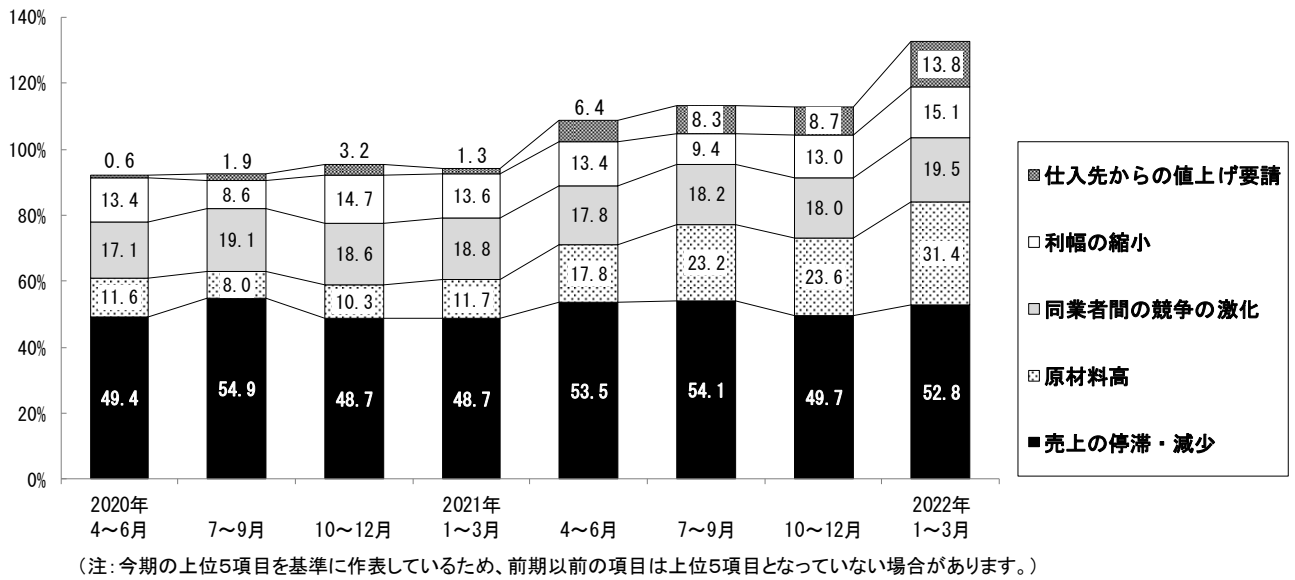


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



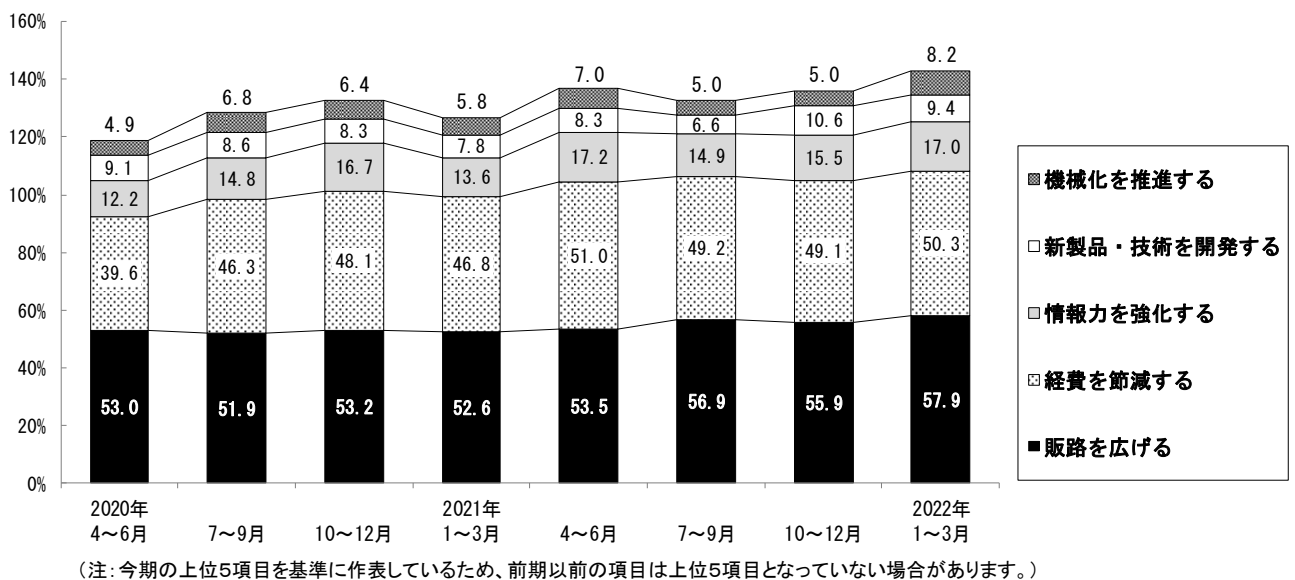
【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)

2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
売上の停滞・減少	53.5%	売上の停滞・減少	54.1%	売上の停滞・減少	49.7%	売上の停滞・減少	52.8%
原材料高	17.8%	原材料高	23.2%	原材料高	23.6%	原材料高	31.4%
同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化	18.0%	同業者間の競争の激化	19.5%
利幅の縮小	13.4%	利幅の縮小	9.4%	利幅の縮小	13.0%	利幅の縮小	15.1%
人手不足 大手企業との競争の激化	8.3%	人手不足	8.8%	大手企業との競争の激化	10.6%	仕入先からの値上げ要請	13.8%



【製造業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
販路を広げる	53.5%	販路を広げる	56.9%	販路を広げる	55.9%	販路を広げる	57.9%
経費を節減する	51.0%	経費を節減する	49.2%	経費を節減する	49.1%	経費を節減する	50.3%
情報力を強化する	17.2%	情報力を強化する	14.9%	情報力を強化する	15.5%	情報力を強化する	17.0%
新製品・技術を開発する	8.3%	人材を確保する	8.3%	新製品・技術を開発する	10.6%	新製品・技術を開発する	9.4%
提携先を見つける	7.6%	提携先を見つける	7.2%	人材を確保する	8.7%	機械化を推進する	8.2%



製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 食料品

業況（ $\Delta 38.6 \rightarrow \Delta 22.0 \rightarrow \Delta 28.8$ ）は悪化傾向が大きく強まった。売上額（ $\Delta 35.2 \rightarrow \Delta 22.2 \rightarrow \Delta 32.6$ ）と受注残（ $\Delta 36.5 \rightarrow \Delta 23.0 \rightarrow \Delta 30.0$ ）は減少傾向が大幅に強まり、収益（ $\Delta 36.2 \rightarrow \Delta 13.4 \rightarrow \Delta 33.5$ ）も極端に悪化した。

販売価格（ $1.8 \rightarrow \Delta 0.1 \rightarrow 0.8$ ）はほぼ横ばいで推移し、原材料価格（ $27.1 \rightarrow 28.6 \rightarrow 27.9$ ）は前期同様の上昇傾向が続いた。原材料在庫数量（ $12.2 \rightarrow 3.6 \rightarrow 1.0$ ）は過剰感がなくなり適正範囲に落ち着いた。

資金繰り（ $\Delta 21.0 \rightarrow \Delta 19.4 \rightarrow \Delta 15.9$ ）はやや窮屈感が弱まり、借入難易度（ $\Delta 40.0 \rightarrow \Delta 20.0 \rightarrow 0.0$ ）は窮屈感がなくなった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 28.6$ 予想）は今期並で推移すると見ている。売上額（ $\Delta 27.9$ 予想）は減少傾向がやや改善し、受注残（ $\Delta 28.5$ 予想）は横這い、収益（ $\Delta 25.6$ 予想）は減益傾向が大幅に和らぐと見ている。販売価格（ $\Delta 3.9$ 予想）は下降に転じ、原材料価格（ 25.0 予想）もわずかに下降すると予想している。原材料在庫数量（ $\Delta 0.5$ 予想）は今期並の水準で推移すると予想している。

② 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（ $\Delta 39.3 \rightarrow \Delta 22.5 \rightarrow \Delta 26.2$ ）は悪化傾向がやや強まった。売上額（ $\Delta 27.4 \rightarrow \Delta 13.0 \rightarrow \Delta 25.2$ ）は減少傾向が大幅に拡大し、受注残（ $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 14.8 \rightarrow \Delta 17.4$ ）は減少傾向が幾分強まった。収益（ $\Delta 21.1 \rightarrow \Delta 16.1 \rightarrow \Delta 14.5$ ）は横這いの減益幅で推移した。

販売価格（ $\Delta 6.0 \rightarrow \Delta 6.0 \rightarrow 1.4$ ）は上昇に転じ、原材料価格（ $27.6 \rightarrow 45.8 \rightarrow 40.3$ ）は幾分下降したものの厳しさが続いた。原材料在庫数量（ $\Delta 1.2 \rightarrow \Delta 1.5 \rightarrow \Delta 1.0$ ）は適正範囲に保たれた。

資金繰り（ $\Delta 16.7 \rightarrow \Delta 16.1 \rightarrow \Delta 5.3$ ）は厳しさが大きく和らぎ、借入難易度（ $\Delta 7.4 \rightarrow \Delta 19.2 \rightarrow \Delta 10.5$ ）も厳しさが大幅に緩和した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 32.0$ 予想）は再び悪化傾向が強まると見ている。売上額（ $\Delta 25.6$ 予想）と収益（ $\Delta 16.4$ 予想）は今期並の減少・減益幅で推移するものの、受注残（ $\Delta 25.0$ 予想）は減少傾向が大幅に強まると予想している。販売価格（ $\Delta 1.8$ 予想）はわずかに下降に転じ、原材料価格（ 26.8 予想）は上昇傾向が大幅に弱まると予想している。原材料在庫数量（ 4.4 予想）はやや過剰感が現れると見ている。

③ 金属製品、建設用金属製品

業況（ $\Delta 13.2 \rightarrow \Delta 27.9 \rightarrow \Delta 19.0$ ）は再び悪化傾向が大きく弱まった。売上額（ $\Delta 10.8 \rightarrow \Delta 29.2 \rightarrow \Delta 8.2$ ）は減少傾向が極端に改善し、受注残（ $\Delta 10.5 \rightarrow \Delta 35.9 \rightarrow \Delta 20.8$ ）と収益（ $\Delta 13.8 \rightarrow \Delta 36.0 \rightarrow \Delta 29.3$ ）も減少・減益傾向が大きく改善した。

販売価格（ $5.8 \rightarrow 10.8 \rightarrow 16.0$ ）は上昇傾向がやや強まっているものの、原材料価格（ $51.8 \rightarrow 40.1 \rightarrow 56.0$ ）は大幅に上昇し厳しが増した。原材料在庫数量（ $6.1 \rightarrow 1.8 \rightarrow 4.2$ ）は過剰感がやや増した。

資金繰り（ $4.7 \rightarrow \Delta 5.5 \rightarrow \Delta 12.2$ ）は厳しさが大きく増したが、借入難易度（ $11.6 \rightarrow 5.0 \rightarrow 4.3$ ）は前期並の容易さで推移した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 12.7$ 予想）は悪化傾向が大きく弱まると見ている。売上額（ $\Delta 17.8$ 予想）は減少傾向が大きく増し、受注残（ $\Delta 22.2$ 予想）は今期並で推移、収益（ $\Delta 26.5$ 予想）は減益傾向が多少改善すると予想している。販売価格（ 11.7 予想）は上昇傾向がやや弱まり、原材料価格（ 49.6 予想）も上昇傾向が幾分弱まると見ている。原材料在庫数量（ 1.4 予想）は適正範囲になると見込まれる。

④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $\Delta 73.8 \rightarrow \Delta 40.0 \rightarrow \Delta 37.5$ ）は低迷が続くものの厳しさが多少和らいだ。売上額（ $\Delta 71.5 \rightarrow \Delta 42.9 \rightarrow \Delta 56.4$ ）と受注残（ $\Delta 54.7 \rightarrow \Delta 36.2 \rightarrow \Delta 43.1$ ）は減少傾向が大きく強まった。収益（ $\Delta 53.2 \rightarrow \Delta 35.8 \rightarrow \Delta 37.4$ ）は前期並の減益幅で推移した。

販売価格（ $\Delta 7.4 \rightarrow \Delta 6.6 \rightarrow 4.0$ ）は大きく上昇に転じ、原材料価格（ $20.2 \rightarrow 17.6 \rightarrow 28.7$ ）も上昇幅が大きく拡大した。原材料在庫数量（ $\Delta 3.3 \rightarrow \Delta 2.7 \rightarrow \Delta 9.5$ ）は不足感がかなり増した。

資金繰り（ $\Delta 26.0 \rightarrow \Delta 19.8 \rightarrow \Delta 20.4$ ）は前期並の窮屈感で推移し、借入難易度（ $0.0 \rightarrow \Delta 10.6 \rightarrow \Delta 5.6$ ）は多少厳しさが和らいだ。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 51.3$ 予想）は悪化傾向が大幅に強まると見ている。売上額（ $\Delta 40.0$ 予想）、受注残（ $\Delta 29.1$ 予想）、収益（ $\Delta 30.4$ 予想）は厳しさが続く中、減少・減益傾向が大きく改善すると予想している。販売価格（ 6.5 予想）はやや上昇傾向で推移し、原材料価格（ 28.3 予想）は横這い、原材料在庫数量（ $\Delta 7.5$ 予想）は不足感がわずかに弱まると予想している。

⑤ 木材・木製品、家具・装備品

業況（△27.9→△38.6→△42.0）は悪化傾向が更に強まり、売上額（△17.1→△42.4→△50.3）、受注残（△22.2→△35.3→△51.6）、収益（△17.5→△40.2→△51.2）はいずれも減少・減益傾向が大幅に強まった。

販売価格（2.8→1.8→△11.8）は大きく下降に転じ、原材料価格（16.2→7.9→31.7）は極端に上昇し厳しさが増した。原材料在庫数量（△6.8→△12.8→△2.3）は不足感が大きく改善した。

資金繰り（△12.7→△23.8→△16.5）は窮屈感が大幅に弱まり、借入難易度（△8.4→△16.7→△8.3）も厳しさが大きく緩和した。

来期の見通しは、業況（△28.6 予想）は大幅に持ち直すと見られており、売上額（△22.6 予想）、受注残（△21.5 予想）、収益（△24.3 予想）も減少・減益傾向が極端に改善されると予想している。販売価格（4.2 予想）は上昇傾向を大きく強め好転するが、原材料価格（32.1 予想）も横這いで厳しさが続くと予想している。原材料在庫数量（8.7 予想）は過剰感が大幅に増すと予想している。

⑥ 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（△31.2→△23.8→△58.9）は悪化傾向が極端に強まり、売上額（△11.3→△23.5→△68.9）、受注残（△20.1→△29.1→△68.3）、収益（△10.8→△26.3→△65.8）も減少・減益傾向が非常に大きく強まった。

販売価格（△16.6→2.2→7.1）は上昇し幾分改善したが、原材料価格（1.3→28.8→32.2）も上昇し多少厳しさを増した。原材料在庫数量（△8.7→9.2→△18.4）は過剰から不足に極端に転じた。

資金繰り（16.7→△4.3→△30.0）は極端に悪化し、借入難易度（△22.2→△30.0→△25.0）もわずかに窮屈感が緩和したものの厳しさが続いた。

来期の見通しは、業況（△44.2 予想）は悪化傾向が大きく持ち直すと見ている。売上額（△49.3 予想）と収益（△49.5 予想）は減少・減益傾向が大幅に改善し、受注残（△47.6 予想）は減少傾向が極端に改善すると予想されている。販売価格（16.8 予想）は大きく上昇し好感感を強め、原材料価格（33.5 予想）は今期並の水準で推移すると見込まれている。原材料在庫数量（△9.2 予想）は不足感が大きく弱まると予想している。

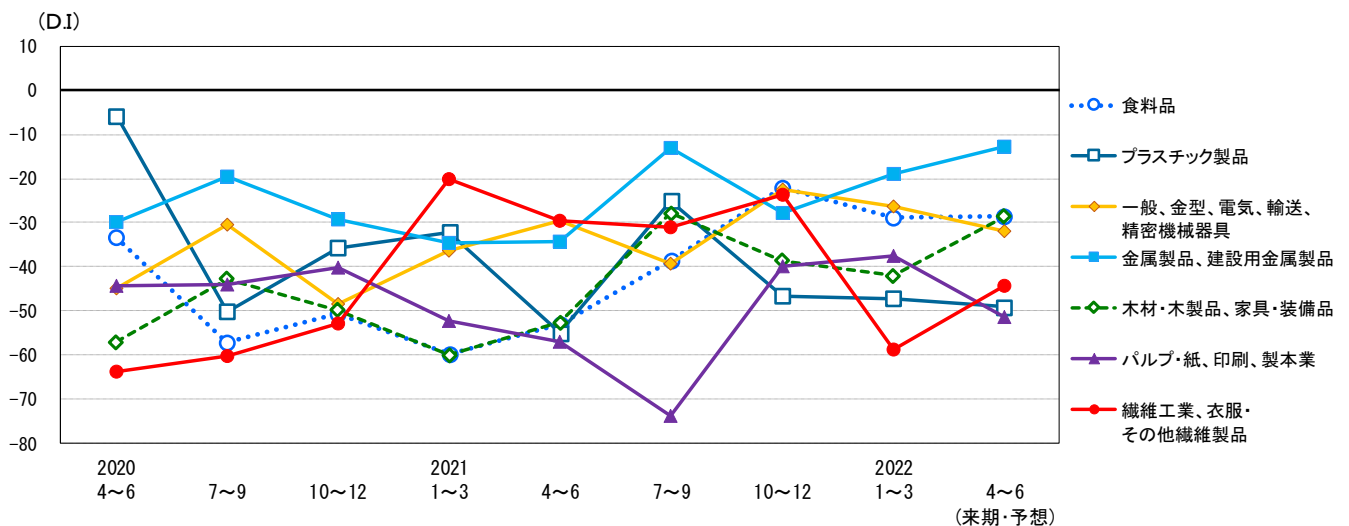
⑦ プラスチック製品

業況（△25.1→△46.6→△47.2）は厳しい状況ながら前期並の悪化幅で推移した。売上額（△26.2→△45.2→△47.8）と収益（△24.3→△42.1→△47.8）は減少・減益傾向が多少強まり、受注残（△27.7→△44.6→△53.4）は減少傾向が大幅に強まった。

販売価格（△2.6→5.1→4.7）は好調感を持って前期並に推移したが、原材料価格（23.4→31.3→44.6）は更に上昇が強まり厳しさが大きく増した。原材料在庫数量（3.0→4.3→△2.3）は過剰感が解消し不足感が現れた。

資金繰り（△3.0→△0.9→△5.8）は窮屈感がやや増し、借入難易度（△14.3→0.0→△13.3）は大幅に厳しい状況に転じた。

来期の見通しは、業況（△49.1 予想）は今期並の悪化幅で推移すると見込まれている。売上額（△37.7 予想）、受注残（△46.6 予想）、収益（△32.4 予想）は減少・減益傾向が大きく改善すると予想している。販売価格（13.6 予想）は大きく上昇し好感感を強めるが、原材料価格（44.6 予想）は今期並の水準で推移し、原材料在庫数量（△2.5 予想）はわずかに不足感がある状態で今期並に推移すると予想している。



小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△35.4→△35.1→△29.5）は悪化傾向が多少弱まったものの厳しさが続いた。

売上額（△32.4→△28.0→△20.7）は減少傾向が大きく改善し、収益（△33.2→△27.4→△24.0）は減益傾向がやや改善した。

来期の見通しについて、業況（△24.6予想）は悪化傾向が幾分弱まり、売上額（△17.1予想）と収益（△19.9予想）は減少・減益傾向がやや改善すると予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（1.5→△3.7→△2.6）は変化なく、仕入価格（8.5→10.6→11.1）は前期並の厳しさを推移した。

在庫数量（1.1→△4.4→△0.1）は品薄感が弱まり適正水準となった。

来期の見通しについて、販売価格（0.5予想）は上昇に転じ、仕入価格（7.7予想）は幾分下降して推移すると予想している。在庫数量（△5.4予想）は品薄感がやや強まると見込まれている。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△14.3→△15.2→△8.7）は窮屈感が大きく和らいたが、借入難易度（△20.6→△8.2→△12.5）は厳しさがやや増した。

設備投資を「実施した」企業（6.9%→5.5%→10.0%）は前期から4.5ポイント増加した。

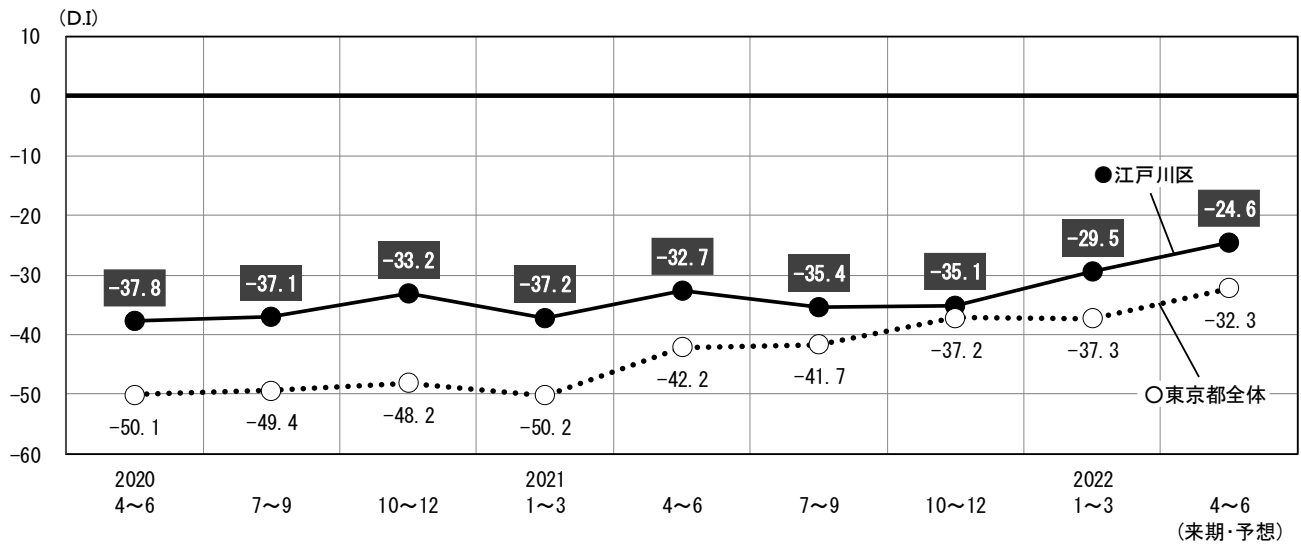
来期の見通しについて、資金繰り（△9.0予想）は今期同様の窮屈感が続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

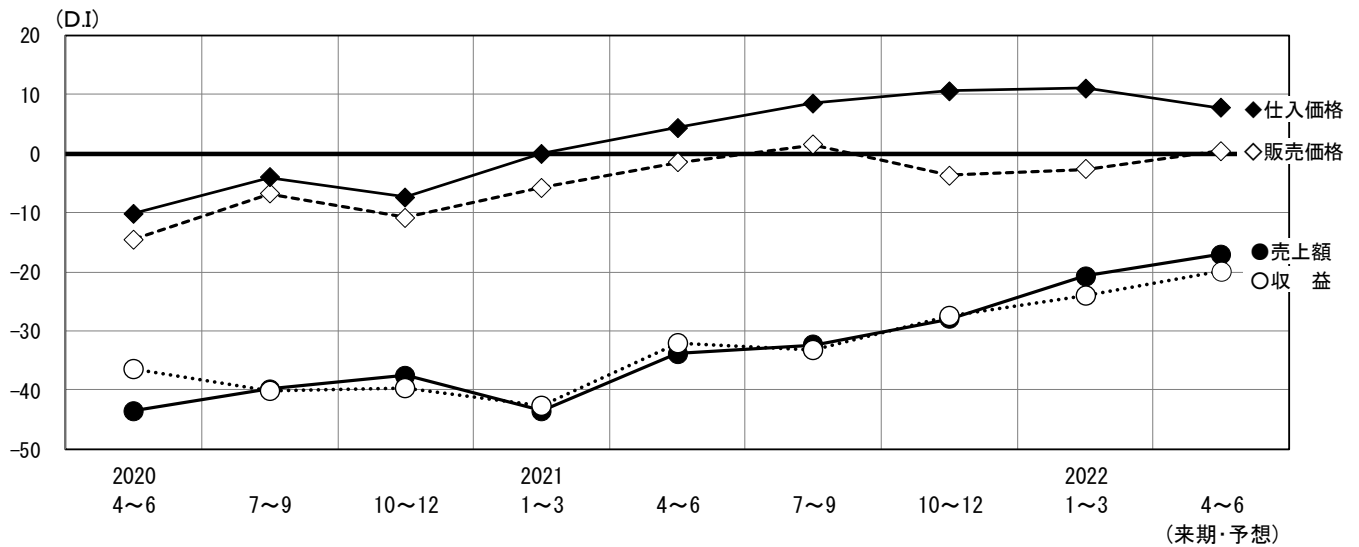
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（42.5%）が今期も最多となった。以下、「大型店との競争の激化」（28.8%）、「同業者間の競争の激化」（23.3%）、「商店街の集客力の低下」（21.9%）、「利幅の縮小」（13.7%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（37.0%）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（28.8%）、「宣伝・広告を強化する」（19.2%）、「売れ筋商品を取り扱う」（17.8%）、「商店街事業を活性化させる」（12.3%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

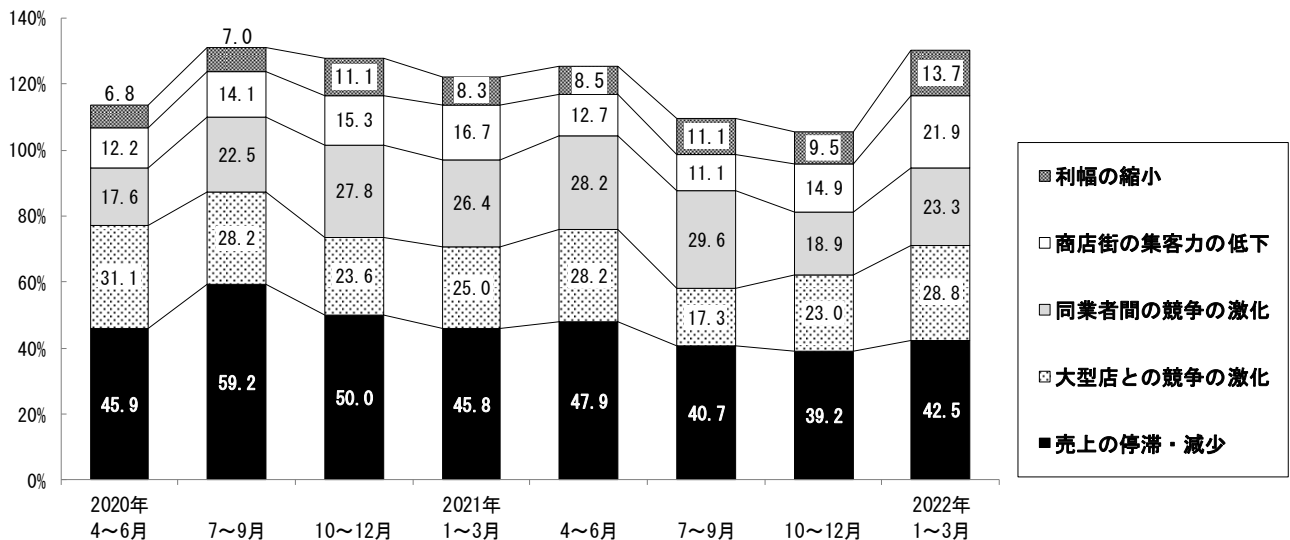


【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



【小売業】 経営上の問題点 (複数回答)

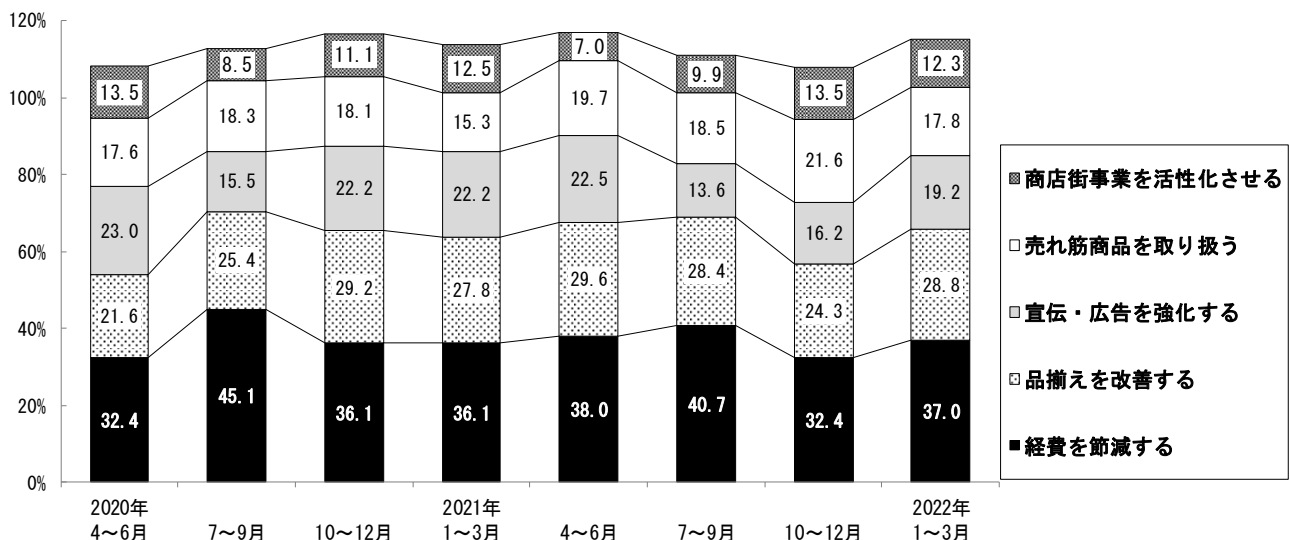
2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
売上の停滞・減少	47.9%	売上の停滞・減少	40.7%	売上の停滞・減少	39.2%	売上の停滞・減少	42.5%
同業者間の競争の激化	28.2%	同業者間の競争の激化	29.6%	大型店との競争の激化	23.0%	大型店との競争の激化	28.8%
大型店との競争の激化		大型店との競争の激化	17.3%	同業者間の競争の激化	18.9%	同業者間の競争の激化	23.3%
商店街の集客力の低下	12.7%	商店街の集客力の低下		商店街の集客力の低下	14.9%	商店街の集客力の低下	21.9%
利幅の縮小 取扱商品の陳腐化	8.5%	利幅の縮小	11.1%	仕入先からの値上げ要請	10.8%	利幅の縮小	13.7%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【小売業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
経費を節減する	38.0%	経費を節減する	40.7%	経費を節減する	32.4%	経費を節減する	37.0%
品揃えを改善する	29.6%	品揃えを改善する	28.4%	品揃えを改善する	24.3%	品揃えを改善する	28.8%
宣伝・広告を強化する	22.5%	売れ筋商品を取り扱う	18.5%	売れ筋商品を取り扱う	21.6%	宣伝・広告を強化する	19.2%
売れ筋商品を取り扱う	19.7%	宣伝・広告を強化する	13.6%	宣伝・広告を強化する	16.2%	売れ筋商品を取り扱う	17.8%
商店街事業を活性化させる	7.0%	商店街事業を活性化させる	9.9%	商店街事業を活性化させる	13.5%	商店街事業を活性化させる	12.3%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（△25.2→△22.7→△36.9）は悪化傾向を大幅に強め、売上額（△25.7→△22.0→△34.0）も減少傾向が大きく拡大した。収益（△36.9→△34.2→△35.4）は前期並の水準で推移した。

販売価格（△13.1→△9.4→△23.7）は下降に転じて厳しさが大きく増し、仕入価格（△12.7→1.2→△22.0）は下降に転じて良好感が大幅に強まった。在庫数量（△26.1→△21.4→△24.8）は品薄感が多少強まった。

資金繰り（△23.5→△26.3→△21.5）は窮屈感が幾分改善したが、借入難易度（△28.6→△16.7→△20.0）は厳しさがやや増した。

来期の見通しは、業況（△45.7 予想）は悪化傾向が大幅に強まると予想している。売上額（△40.5 予想）も減少傾向が大きく強まり、収益（△40.3 予想）は減益傾向が幾分強まると見ている。販売価格（△24.7 予想）と仕入価格（△23.5 予想）も今期同様の水準で推移すると予想している。在庫数量（△25.4 予想）は今期並の不足感が続くと思われている。

② 飲食料品

業況（△45.2→△51.7→△35.6）は悪化傾向がかなり弱まった。売上額（△38.6→△41.4→△26.9）と収益（△40.8→△42.7→△33.4）は減少・減益傾向が大幅に改善した。

販売価格（4.6→△12.5→△10.0）は下降傾向がやや改善したが、仕入価格（11.5→3.4→14.2）は上昇傾向が大きく強まり厳しさが増した。在庫数量（5.7→9.0→0.5）は過剰感が解消し適正範囲に納まった。

資金繰り（△16.8→△15.4→△16.5）は前期並の窮屈感が続いたが、借入難易度（△33.3→△13.7→△28.6）は苦しさが大幅に増した。

来期の見通しは、業況（△32.5 予想）は悪化傾向がわずかに弱まると予想している。売上額（△26.4 予想）は今期並の減少幅で推移し、収益（△30.7 予想）は減益傾向が幾分弱まると予想している。販売価格（△4.6 予想）は下降傾向が幾分弱まり、仕入価格（9.9 予想）も多少下降して厳しさが和らぐと予想している。在庫数量（△4.3 予想）は不足感が出てくると見込まれている。

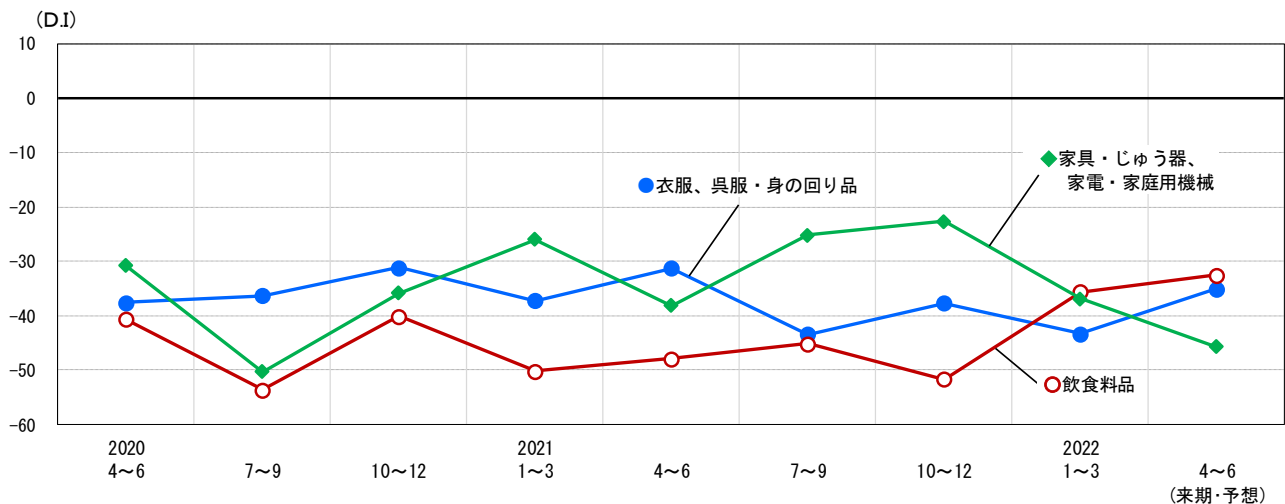
③ 衣服、呉服、身の回り品

業況（△43.5→△37.7→△43.3）は再び悪化傾向が幾分強まり厳しい状況が続いた。売上額（△36.4→△20.9→△33.6）と収益（△37.0→△19.4→△33.4）は減少・減益傾向がかなり強まった。

販売価格（△16.1→△11.9→△10.9）と仕入価格（△15.8→△10.6→△11.7）は前期同様の下降幅で推移した。在庫数量（△6.2→△11.3→△11.4）は前期並の品薄感が続いた。

資金繰り（△13.8→△11.5→△12.0）は窮屈感に変化なく、借入難易度（△50.0→△25.0→△28.6）は苦しさが幾分増した。

来期の見通しは、業況（△35.1 予想）は悪化傾向が大きく改善すると見ており、売上額（△20.7 予想）と収益（△20.7 予想）も減少・減益傾向が大幅に弱まると予想している。販売価格（△10.0 予想）と仕入価格（△11.5 予想）も今期同様の水準で推移すると予想しており、在庫数量（△9.8 予想）も今期並の品薄感で推移すると見込まれている。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 32.9 \rightarrow \Delta 27.7 \rightarrow \Delta 32.2$ ）は悪化傾向が再び強まった。

売上額（ $\Delta 28.7 \rightarrow \Delta 19.5 \rightarrow \Delta 24.9$ ）と収益（ $\Delta 31.5 \rightarrow \Delta 25.3 \rightarrow \Delta 27.8$ ）は減少・減益傾向がやや強まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 29.2$ 予想）はわずかに持ち直すと予想している。売上額（ $\Delta 17.3$ 予想）は減少傾向が大きく改善され、収益（ $\Delta 23.3$ 予想）は減益傾向がやや改善すると予想している。

（２）料金価格、材料価格

料金価格（ $\Delta 2.8 \rightarrow \Delta 0.1 \rightarrow 7.0$ ）は大きく上昇に転じたが、材料価格（ $15.7 \rightarrow 21.7 \rightarrow 34.0$ ）も大幅に上昇し厳しさが増した。

来期の見通しについて、料金価格（ 5.4 予想）は今期並で推移するが、材料価格（ 34.4 予想）も横這いで厳しい状態が続くと予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 14.2 \rightarrow \Delta 18.4 \rightarrow \Delta 11.9$ ）は窮屈感が大きく弱まったが、借入難易度（ $\Delta 10.4 \rightarrow \Delta 2.3 \rightarrow \Delta 9.3$ ）は厳しさが大きく増した。

設備投資を「実施した」企業（ $14.3\% \rightarrow 19.3\% \rightarrow 5.2\%$ ）は、前期から14.1ポイント減少した。

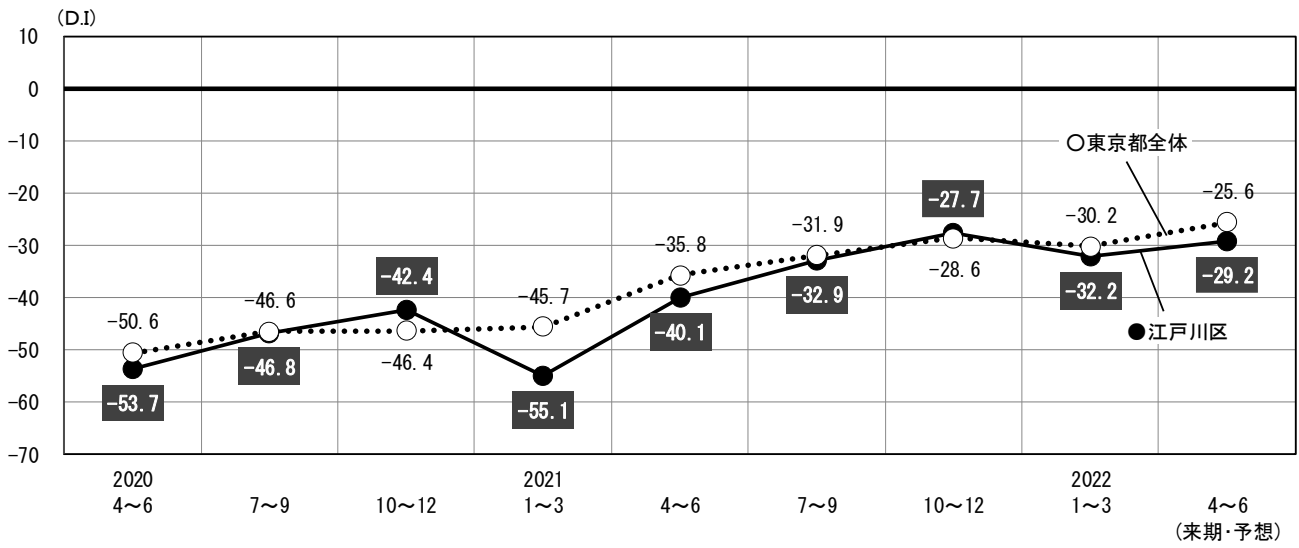
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 11.8$ 予想）は今期並の窮屈感で推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

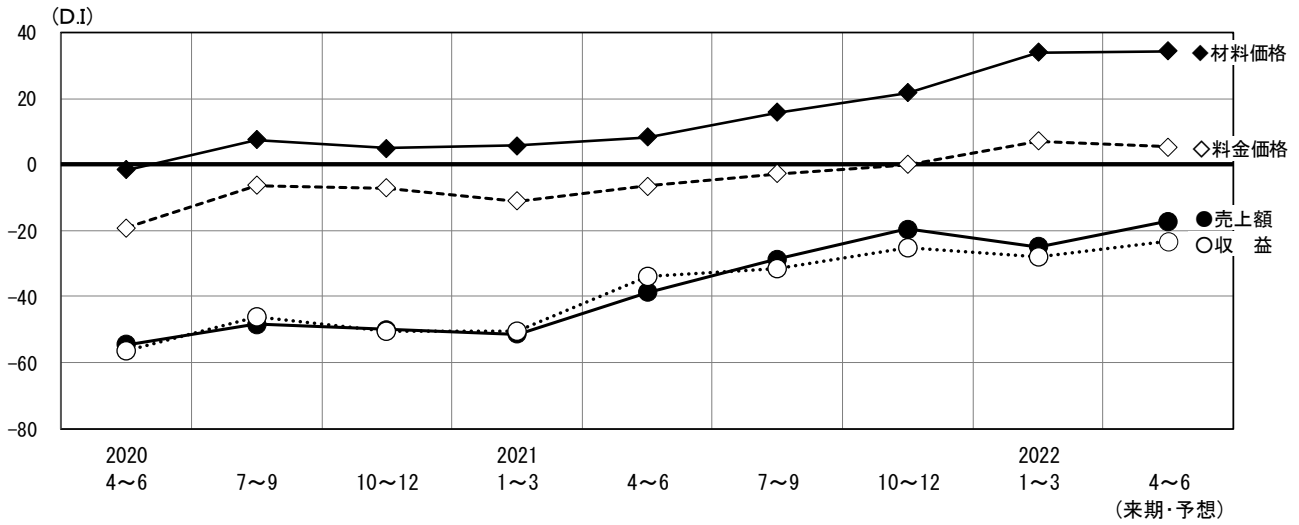
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（45.8%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（27.1%）、「人手不足」（18.6%）、「利幅の縮小」、「材料価格の上昇」（各16.9%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（40.7%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（30.5%）、「宣伝・広告を強化する」、「人材を確保する」（各15.3%）、「技術力を強化する」（8.5%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

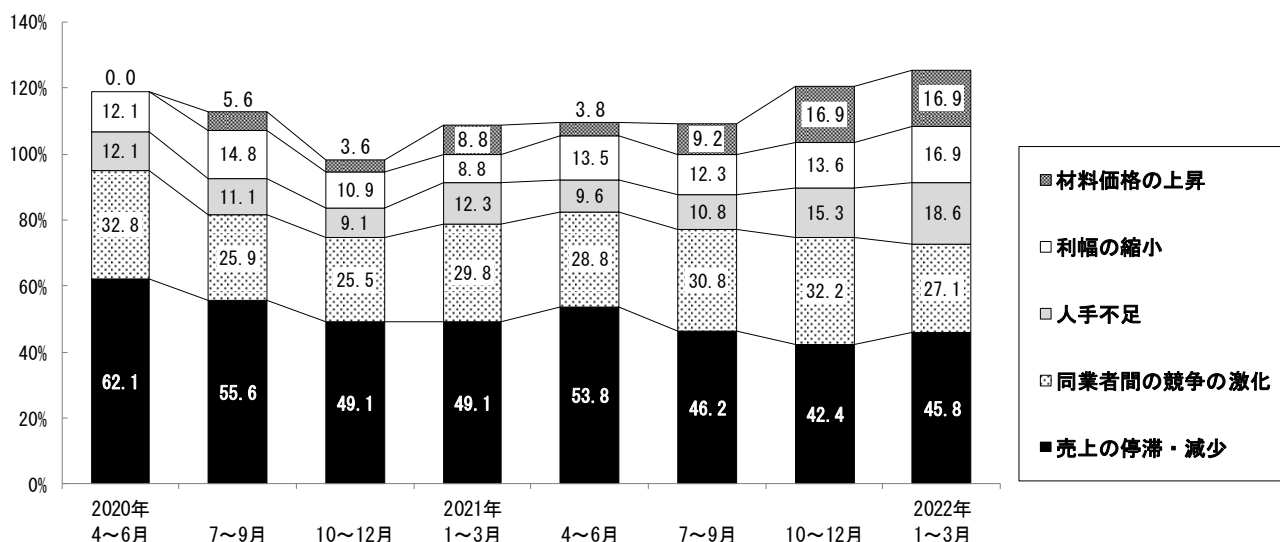


【サービス業】 売上額・収益・料金・材料価格の推移



【サービス業】 経営上の問題点 (複数回答)

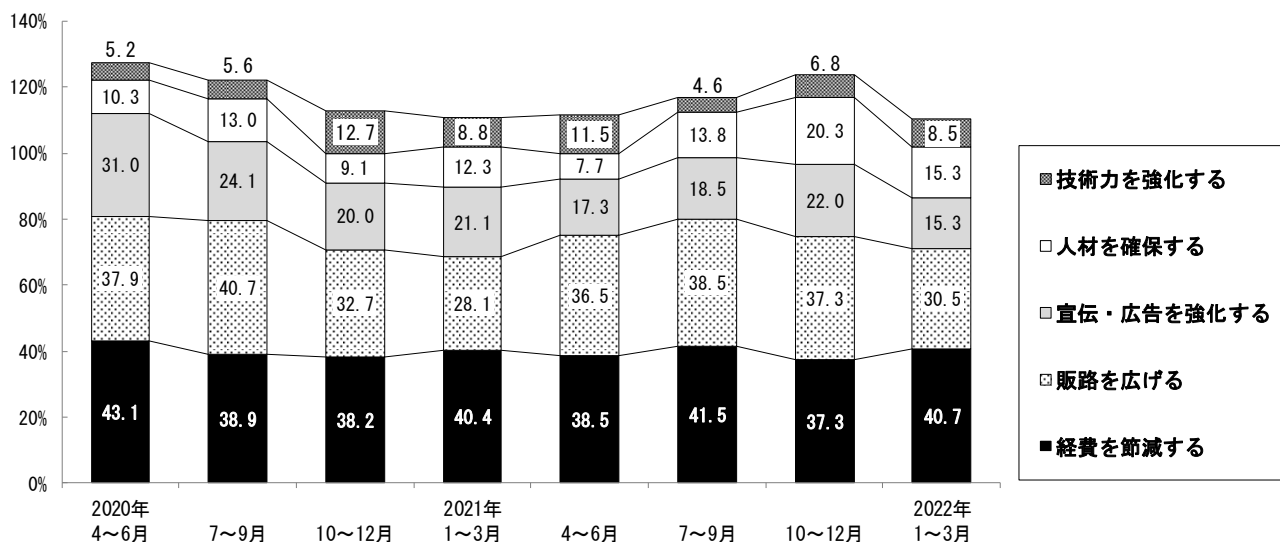
2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
売上の停滞・減少	53.8%	売上の停滞・減少	46.2%	売上の停滞・減少	42.4%	売上の停滞・減少	45.8%
同業者間の競争の激化	28.8%	同業者間の競争の激化	30.8%	同業者間の競争の激化	32.2%	同業者間の競争の激化	27.1%
利幅の縮小	13.5%	利幅の縮小	12.3%	材料価格の上昇	16.9%	人手不足	18.6%
取引先の減少 大企業との競争の激化 人手不足 店舗・設備の狭小・老朽化	9.6%	人手不足 取引先の減少 材料価格の上昇	10.8%	人手不足 利幅の縮小	15.3%	利幅の縮小 材料価格の上昇	16.9%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【サービス業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
経費を節減する	38.5%	経費を節減する	41.5%	経費を節減する	37.3%	経費を節減する	40.7%
販路を広げる	36.5%	販路を広げる	38.5%	販路を広げる	37.3%	販路を広げる	30.5%
宣伝・広告を強化する	17.3%	宣伝・広告を強化する	18.5%	宣伝・広告を強化する	22.0%	宣伝・広告を強化する	15.3%
技術力を強化する	11.5%	人材を確保する	13.8%	人材を確保する	20.3%	人材を確保する	15.3%
店舗・設備を改装する	9.6%	教育訓練を強化する	7.7%	教育訓練を強化する	10.2%	技術力を強化する	8.5%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（ $\Delta 24.9 \rightarrow \Delta 27.0 \rightarrow \Delta 20.6$ ）は悪化傾向がかなり弱まった。

売上額（ $\Delta 30.4 \rightarrow \Delta 16.6 \rightarrow \Delta 17.7$ ）は前期並、受注残（ $\Delta 25.2 \rightarrow \Delta 14.4 \rightarrow \Delta 21.1$ ）は減少傾向が大幅に強まり、施工高（ $\Delta 26.6 \rightarrow \Delta 15.9 \rightarrow \Delta 7.7$ ）と収益（ $\Delta 31.7 \rightarrow \Delta 38.8 \rightarrow \Delta 30.5$ ）は減少・減益傾向が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 15.8$ 予想）は多少持ち直し、売上額（ $\Delta 13.9$ 予想）、施工高（ $\Delta 2.6$ 予想）、収益（ $\Delta 25.5$ 予想）も減少傾向が幾分改善し、受注残（ $\Delta 9.1$ 予想）は大幅に改善すると予想している。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（ $\Delta 18.6 \rightarrow \Delta 11.4 \rightarrow \Delta 9.4$ ）は下降傾向がやや弱まったが、材料価格（ $34.9 \rightarrow 59.5 \rightarrow 62.8$ ）は更に上昇して厳しさが幾分増した。

在庫数量（ $\Delta 7.0 \rightarrow \Delta 6.2 \rightarrow \Delta 8.8$ ）はやや不足感が増した。

来期の見通しについて、請負価格（ $\Delta 1.9$ 予想）は下降傾向が大きく持ち直し、材料価格（ 54.7 予想）も大幅に改善するが依然厳しい水準が続くとみている。在庫数量（ $\Delta 7.7$ 予想）は今期並の品薄感が続く予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 11.3 \rightarrow \Delta 12.1 \rightarrow \Delta 12.3$ ）は前期同様の窮屈感が続いたが、借入難易度（ $\Delta 4.1 \rightarrow 2.2 \rightarrow \Delta 4.6$ ）は大きく難化し窮屈感が増した。

設備投資を「実施した」企業（ $25.4\% \rightarrow 16.7\% \rightarrow 14.0\%$ ）は前期から2.7ポイント減少した。

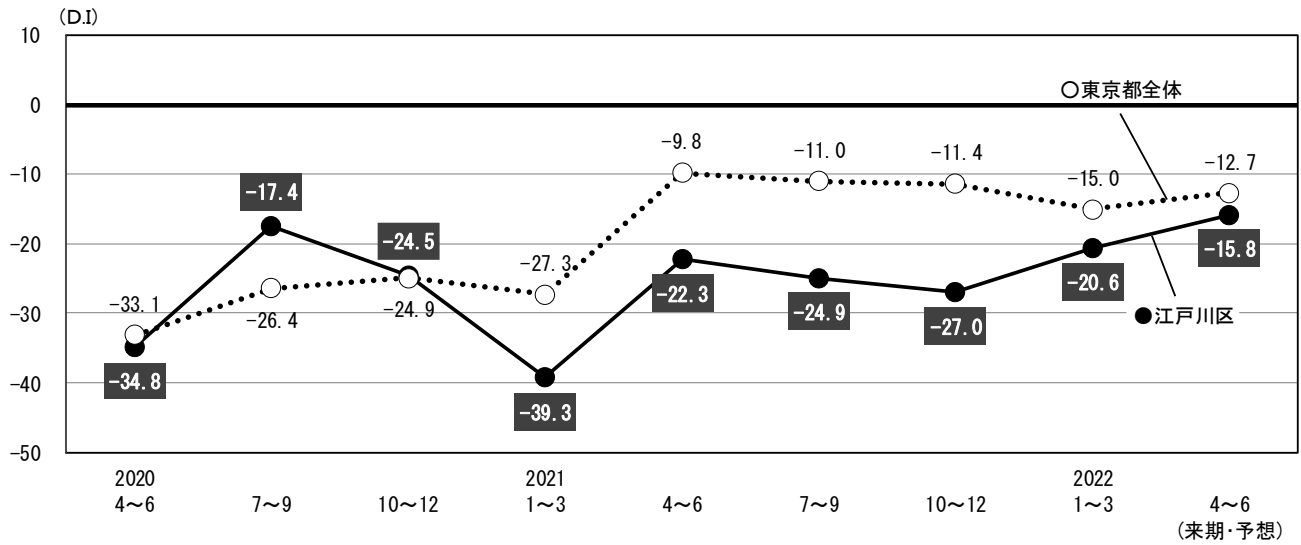
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 3.5$ 予想）の厳しさはかなり和らぐと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

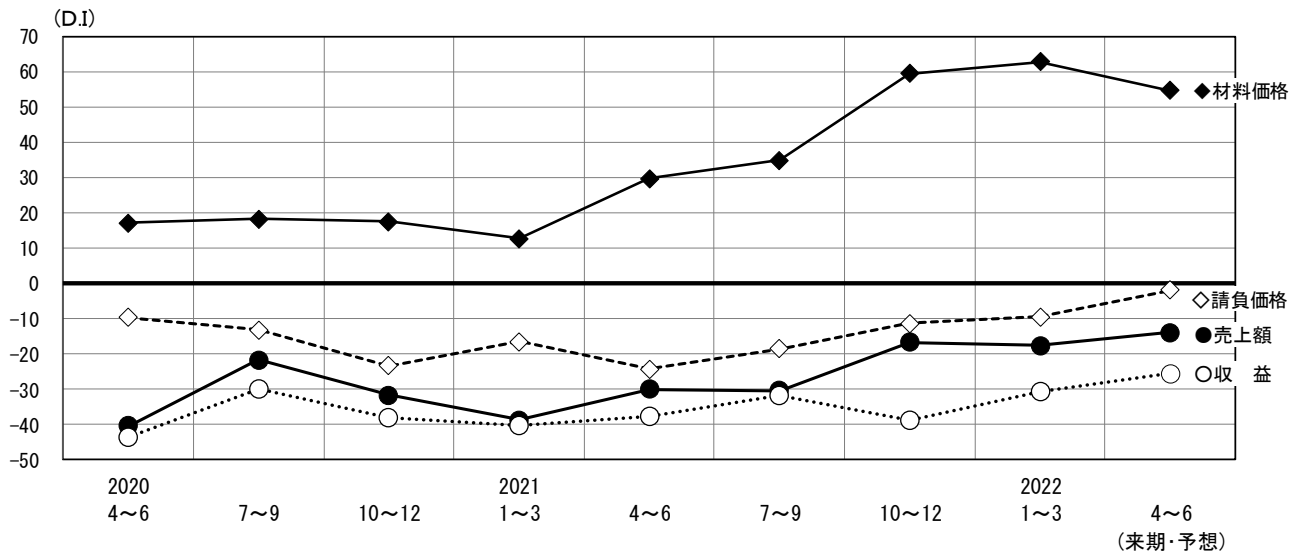
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（50.0%）が2期連続で最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（36.5%）、「人手不足」（23.1%）、「同業者間の競争の激化」（17.3%）、「利幅の縮小」（15.4%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」、「技術力を高める」（各34.6%）が今期は最多となった。以下、「人材を確保する」（26.9%）、「販路を広げる」（25.0%）、「情報力を強化する」（23.1%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

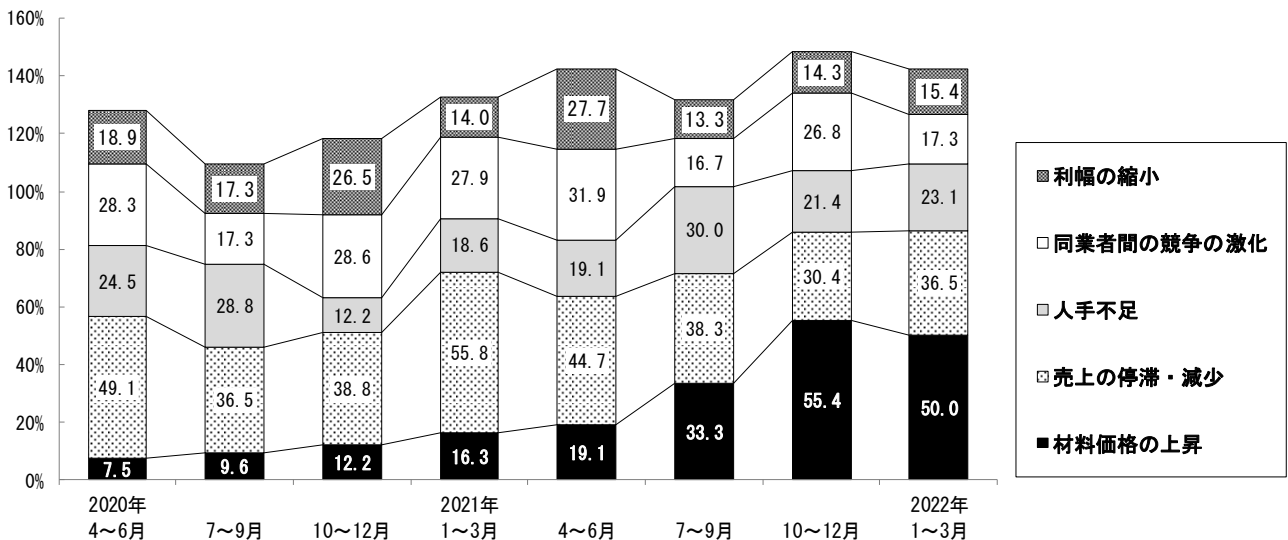


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



【建設業】 経営上の問題点 (複数回答)

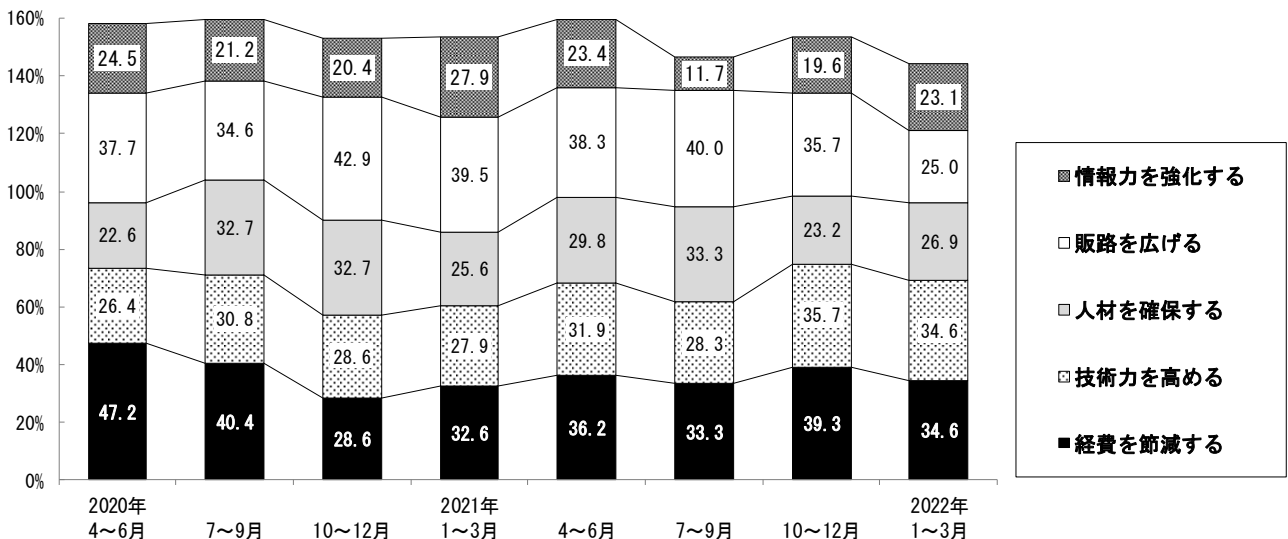
2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
売上の停滞・減少	44.7%	売上の停滞・減少	38.3%	材料価格の上昇	55.4%	材料価格の上昇	50.0%
同業者間の競争の激化	31.9%	材料価格の上昇	33.3%	売上の停滞・減少	30.4%	売上の停滞・減少	36.5%
利幅の縮小	27.7%	人手不足	30.0%	同業者間の競争の激化	26.8%	人手不足	23.1%
人手不足	19.1%	同業者間の競争の激化	16.7%	人手不足	21.4%	同業者間の競争の激化	17.3%
材料価格の上昇		利幅の縮小	13.3%	利幅の縮小 技術力の不足	14.3%	利幅の縮小	15.4%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【建設業】 重点経営施策 (複数回答)

2021年4～6月期		2021年7～9月期		2021年10～12月期		2022年1～3月期	
販路を広げる	38.3%	販路を広げる	40.0%	経費を節減する	39.3%	経費を節減する	34.6%
経費を節減する	36.2%	経費を節減する	33.3%	販路を広げる	35.7%	技術力を高める	26.9%
技術力を高める	31.9%	人材を確保する	28.3%	技術力を高める	23.2%	人材を確保する	25.0%
人材を確保する	29.8%	技術力を高める	11.7%	人材を確保する	19.6%	販路を広げる	23.1%
情報力を強化する	23.4%	情報力を強化する		情報力を強化する		情報力を強化する	



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

調査員のコメント

- ・社員がコロナ感染で10日間の休業となり、休業保証等のほか急な人員確保が必要となって収益が厳しい。(建設、7名)

出典：『景況情報ガイド』都内中小企業景況調査結果 2022年1月～3月期より江戸川区分を抜粋

江戸川区独自の調査から

[景況全般について]

- ・半導体不足等により、内示に対して確定が落ち全般的に悪くなってきている。(製造業)
- ・コロナの影響がじわじわと社会に浸透してきていて、特に経済的に追い詰められている人が増えている気がする。今は若い人や飲食店の経営者だがいずれより年齢が高く蓄えの多い人や他の業種にも同様の事が起きる気がする。(製造業)
- ・1月の景気は底冷えしていた。2月末からは少しずつ客足が戻ってきたと感じてきたが、ガソリン高騰のあおりを受け、停滞している。(小売業)
- ・介護保険制度下での事業をしており、内部留保も無く、景気による影響はあまりない。(サービス業)
- ・この期間はその前の期間に比べ若干客数が減少したように感じる。(サービス業)
- ・全体の印象としては、徐々に回復傾向にあると思われるが、燃料の高騰が相当な負担になってきて、今後の経営の重しとなりそうだ。(サービス業)
- ・現在従業員は諸物価の値上げで苦しんでいる。4月から僅かだが支払単価を上げる人がいる予定。赤字は増えるばかりだが、従業員の生活を守ることが私の経営方針だ。(建設業)

[受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・今年になってから、コロナ、ウクライナが関係しているかどうかは不明だが受注が半減している。3月はほとんど仕事ができなかった。節約に努めているが、原材料が値上がりし、この先会社を維持していけるか不安だ。(製造業)
- ・年度末にもかかわらず、大幅に売上が落ちており、過去にないほど悪い状況だ。(小売業)
- ・建築設計業だがコロナの影響で建築資材が不足していて、値上がりも続いており、新規の仕事はほとんどない。戦争の影響もあると思われる。経費を最小限に抑えるよう心掛けている。(サービス業)
- ・1～2月は、コロナの影響による失注も続き、前年と変わらず売上大幅ダウンとなった。3月のまん延防止措置解除に伴い、受注が回復してきたが、年度末の季節要因もあるので、4月以降についてはまだ見通しが立たない。(サービス業)
- ・年度末になるため、公共工事を扱うことが多数あった。(建設業)

[経営上の課題]

- ・コロナ感染前までとは程遠い状況で資金繰りに苦労している。(製造業)
- ・サイバーセキュリティの強化に取り組む必要がある。(製造業)
- ・景気は横ばい状態に感じるが、数年後を見越して、若い人材の確保が最大の重要事項と考えている。しかし、ハローワークなどに求人を出しても、ここ数年応募が全くない状況。(小売業)
- ・年明けも、売り上げは若干落ちているが、堅調な受注が続いている。新型コロナウイルスによる影響はあるが、なんとか事業継続できる範囲。弊社は井戸メンテナンスをしており、従来から景気の影響が少なく、触れ幅は他の業種より小さいという特性がある。弊社のような零細企業は、慢性的に人材の不足が続いており、募集を継続的にかけているが、応募は皆無の状況。(建設業)

[経営改善等に向けての取組み]

- ・労務費、電気料、原材料、副資材、運賃等の購入価格上昇に伴い、各顧客と価格改定の申請を行っている。(製造業)
- ・現在の取組みとして不採算な作業をなるべく省くように心掛けている。(サービス業)
- ・毎日ではないが、テレワークを導入している。(サービス業)
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、工事の休止、工期の遅延、資材納入の遅れ、自粛体制による受注の減少があった。営業もしにくい状況のため、電話での営業を中心に受注を獲得している。(建設業)

江戸川区の企業倒産動向

(2022年1月～3月)

2022年1～3月期の江戸川区の倒産件数は、前期比増減なしの7件（前期7件）、負債総額は前期比41.6%減の3億66百万円（前期6億27百万円）であった。業種別にみると、件数では“建設業”と“情報通信業・運輸業”が2件、“製造業”“卸売業”“その他”が各1件であった。負債総額は“建設業”が2億15百万円、“製造業”が90百万円、“情報通信業・運輸業”が41百万円であった。

江戸川区の業種別倒産動向

(単位:件・百万円)

	前年同期 2021年1～3月		前期 2021年10～12月		今期 2022年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	1	10	1	90
卸売業	3	70	1	10	1	10
小売業	2	49	1	21	0	0
サービス業	1	20	1	10	0	0
建設業	4	210	1	76	2	215
不動産業	1	20	1	490	0	0
情報通信業・運輸業	1	10	0	0	2	41
宿泊業,飲食サービス業	1	120	1	10	0	0
その他	0	0	0	0	1	10
合計	13	499	7	627	7	366

東京都の企業倒産動向

(2022年1月～3月)

2022年1～3月期の東京都の倒産件数は、前期比2.3%増の263件（前期257件）、負債総額は前期比6.8%減の816億円（前期876億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が64件で今期も最も多く、次いで“卸売業”が45件であった。負債総額は“卸売業”が361億円で最も多く、次いで、“宿泊業,飲食サービス業”が170億円、“サービス業”が88億円と続いた。

1. 概況

(単位:件・億円)

	前年同期 2021年 1～3月	前期 2021年 10～12月	今期 2022年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	300	257	263	2.3%
負債総額	1,008	876	816	-6.8%	-19.0%

2. 原因別倒産動向

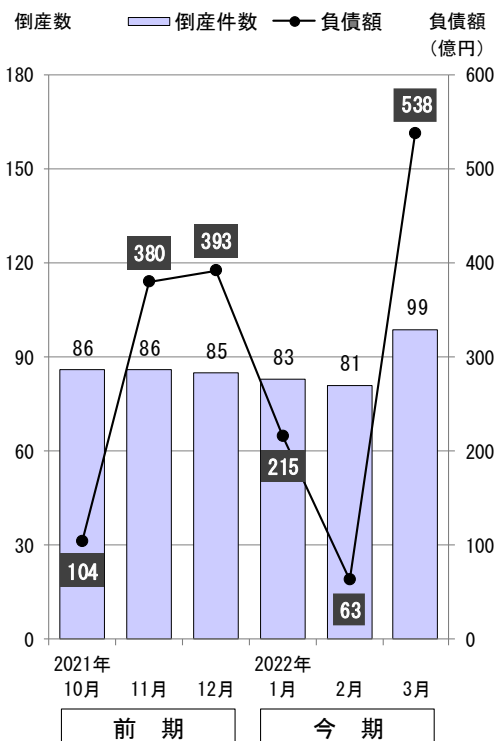
(単位:件)

	前年同期 2021年 1～3月	前期 2021年 10～12月	今期 2022年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	219	168	183	8.9%
既往のしわ寄せ	26	25	23	-8.0%	-11.5%
売掛金等回収難	3	1	2	100.0%	-33.3%
(不況型計)	248	194	208	7.2%	-16.1%
放漫経営	18	20	23	15.0%	27.8%
過小資本	7	2	2	0.0%	-71.4%
他社倒産の余波	18	32	20	-37.5%	11.1%
信用性低下	3	1	1	0.0%	-66.7%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	1	0	-	-
その他	5	7	9	28.6%	80.0%
合計	300	257	263	2.3%	-12.3%

3. 業種別倒産動向

(単位:件・億円)

	前年同期 2021年1～3月		前期 2021年10～12月		今期 2022年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	19	39	26	67	12	71
卸売業	53	46	45	558	45	361
小売業	35	493	31	50	20	6
サービス業	68	205	54	124	64	88
建設業	32	23	30	23	28	25
不動産業	19	32	16	18	13	60
情報通信業・運輸業	36	90	25	15	42	28
宿泊業,飲食サービス業	22	71	19	6	29	170
その他	16	9	11	15	10	9
合計	300	1,008	257	876	263	816



※負債総額の各項目は四捨五入した値のため
合計と一致しない場合があります。

特別調査 「原材料・仕入価格上昇による中小企業への影響について」

(2022年3月上旬調査)

注1. 以下に示している割合は、今回の調査に協力いただいた中小企業(全380事業所)の回答割合であり、調査の対象となっている企業数が少ない「卸売業」(18社)と「不動産業」(26社)も含めています。

注2. 割合は小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答の場合に合計が100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	①原材料・仕入価格上昇による収益への影響	「多少悪影響がある」43.4%、「かなり影響がある」17.1% 「ほとんど影響はない」25.5%
	②原材料・仕入価格の1年前との比較	『上昇』81.9%(うち「5～10%程度の上昇」21.8% 「0～3%程度の上昇」19.9%)
	③原材料・仕入価格上昇分の販売価格転嫁割合	『価格転嫁は一部のみにとどまる』62.8%(うち「20%まででほとんど転嫁できていない」24.3% 「20～50%程度で多少転嫁できている」20.3%) 「全く転嫁できていない」7.0%
	④各種資材や製商品(量・質)の確保状況	「必要量・質が確保できている(値上げによる調達を含む)」36.5% 『問題を抱えている』63.5% 対応方法は「販売先への納期の調整」12.3% 「代替商品の調達(同等品質)」9.1%
	⑤仕入先の見直し等を検討する際に重視する点	「仕入価格」30.1%、「日頃からの付き合い・紹介」17.6% 「商品の品質」と「安定供給力」が同率で16.5%

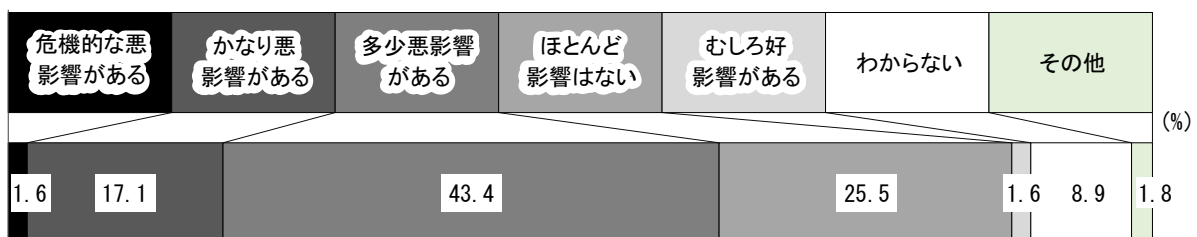
※上記表中の割合合計は、少数点以下四捨五入の影響により単数回答質問の場合は100%にならないこともあります。

問1. 原材料・仕入価格上昇による収益への影響について

区内の中小企業を対象に最近の原材料・仕入価格の上昇が収益に与える影響について伺った。その結果、『悪影響がある』との回答が62.1%と全体の6割超を占めた。その内訳は「多少悪影響がある」が43.4%、「かなり悪影響がある」が17.1%、「危機的な悪影響がある」が1.6%であった。一方、「ほとんど影響はない」は25.5%、「むしろ好影響がある」が1.6%の回答であった。

業種別にみると建設業・製造業で「かなり悪影響がある」と回答した企業が全業種平均より高い割合(それぞれ25.5%、20.4%)となっていた。一方、小売業・サービス業では「ほとんど影響はない」とする企業がそれぞれ40.8%、29.8%となるなど、業種ごとに影響が分かれる結果となった。

原材料・仕入価格上昇による収益への影響



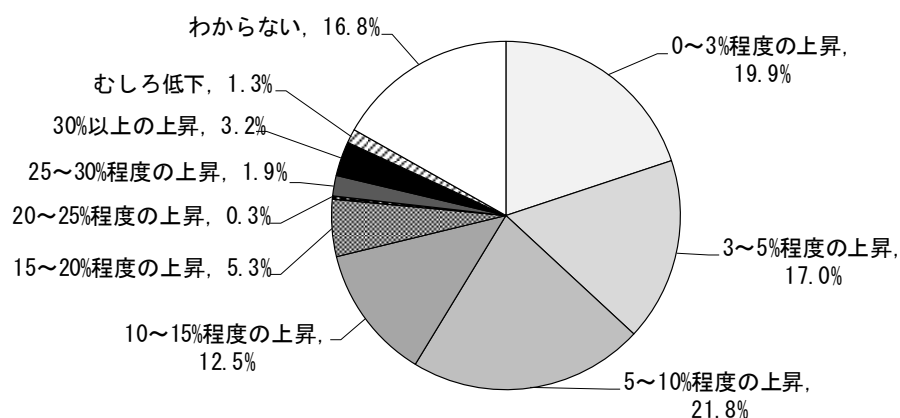
※回答により100%にならないこともあります。

問2. 原材料・仕入価格の1年前との比較について

次に原材料・仕入価格が1年前と比較してどの程度変化したかを伺った。その結果、全体の81.9%の企業において、原材料・仕入価格が1年前より『上昇』したと回答している。その上昇度合は、「5～10%程度の上昇」が21.8%、次いで「0～3%程度の上昇」が19.9%、「3～5%程度の上昇」が17.0%、「10～15%程度の上昇」が12.5%となった。一方、「むしろ低下した」と回答した企業は1.3%にとどまった。

業種別に見ると、サービス業、小売業では「0～3%程度の上昇」がそれぞれ35.1%、30.4%で最も高く、建設業、製造業では「5～10%程度の上昇」がそれぞれ34.0%、22.9%で最も高い回答となった。

原材料・仕入価格の1年前との比較



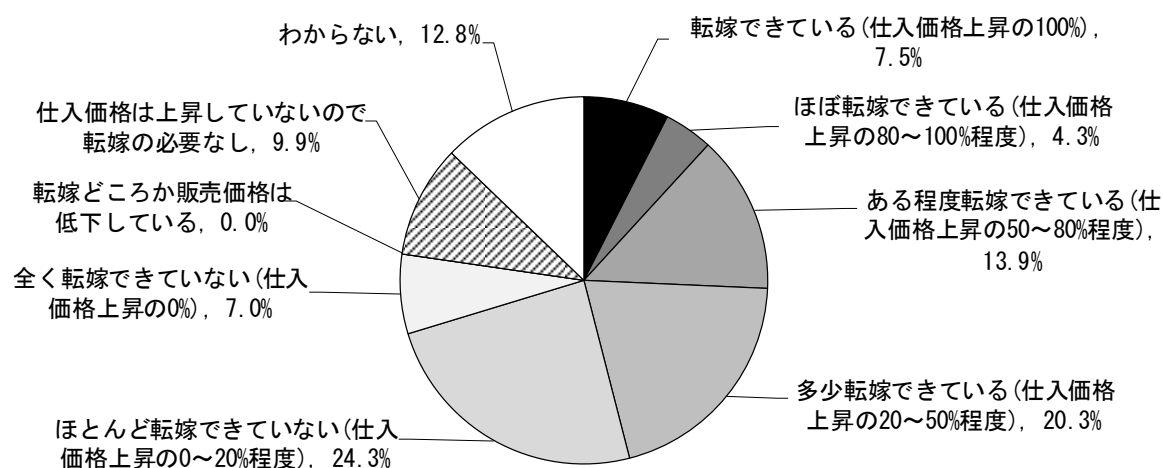
※回答により100%にならないこともあります。

問3. 原材料・仕入価格上昇分の販売価格転嫁割合について

更に、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できているか伺ったところ、「100%転嫁できている」との回答は7.5%であった。また、『価格転嫁は一部のみにとどまる』との回答は合計で62.8%となり、その内訳は、「20%まででほとんど転嫁できていない」が24.3%、「20～50%程度で多少転嫁できている」が20.3%となるなど、原材料・仕入価格上昇分の半分以下しか価格転嫁できていない企業が4割以上あった。一方、「全く転嫁できていない」が7.0%、「仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし」が9.9%の回答であった。

業種別では、サービス業において「20%程度まででほとんど転嫁できていない」「全く転嫁できていない」との回答があわせて42.9%となるなど、客離れの懸念から価格転嫁が難しい状況が現れている。今後の販売価格、物価上昇の動向とその影響が注目される。

原材料・仕入価格上昇分の販売価格転嫁割合



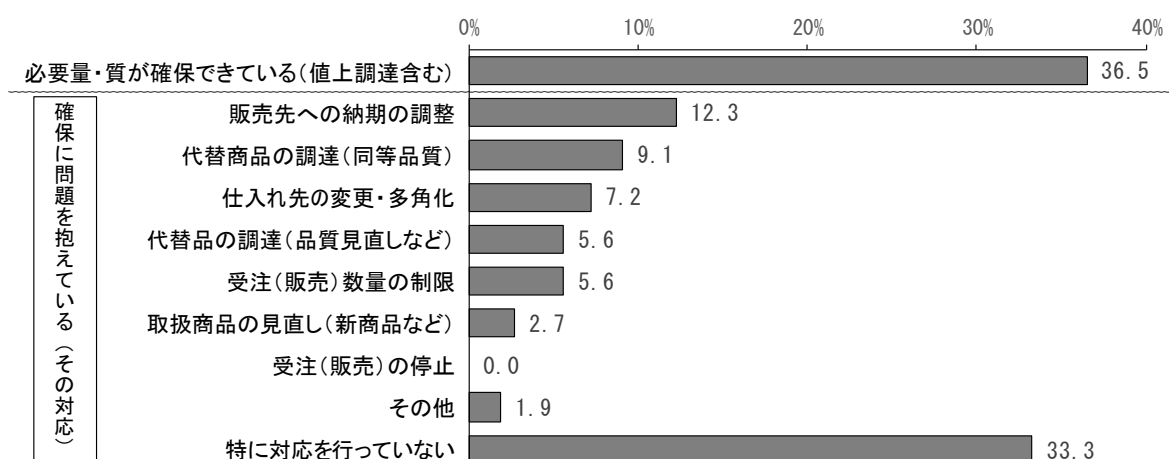
※回答により100%にならないこともあります。

問4. 各種資材や製商品(量・質)の確保状況

各種資材や製商品の量や質が確保できているか、また確保に問題を抱えている場合の対応について伺った(最大3項目まで)。その結果、「必要量・質が確保できている(値上げによる調達を含む)」との回答は全体の36.5%となっていた。一方、『確保に問題を抱えている』と回答した企業は63.5%であった。その対応においては「販売先への納期の調整」が12.3%と最も高く、次いで「代替商品の調達(同等品質)」が9.1%、「仕入れ先の変更・多角化」が7.2%と続いた。他方「特に対応を行っていない」が33.3%であった。

業種別では、建設業で「販売先への納期の調整」が22.4%、「代替商品の調達(同等品質)」が20.4%、「代替品の調達(品質見直しなど)」が16.3%となり、全業種平均より大幅に高い結果となった。

各種資材や製商品(量・質)の確保状況(対策は3つまで)

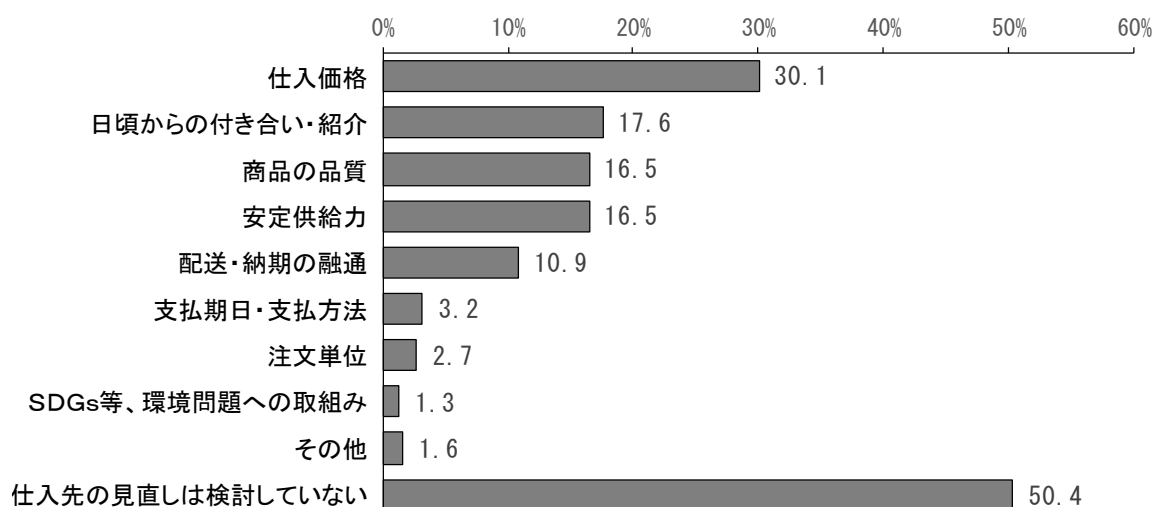


問5. 仕入れ先の見直し等を検討する際に重視する点

最後に、仕入れ先の見直し等を検討するにあたり重視する点について伺った(最大3項目まで)。その結果、「仕入価格」が30.1%と最も高く、「日頃からの付き合い・紹介」が17.6%、「商品の品質」と「安定供給力」が同率で16.5%、「配送・納期の融通」が10.9%と上位を占めた。一方、「仕入れ先の見直しは検討していない」との回答が50.4%であった。

業種別では、製造業、建設業において「仕入価格」の見直し検討がそれぞれ37.6%、32.7%となり、全業種平均を上回った。

仕入れ先の見直し等を検討する際に重視する点(重視する点は3つまで)



	業種	回答数	問1 原材料・仕入価格上昇による収益への影響							問2 原材料・仕入価格の1年前との比較											
			『悪影響がある』			ほとんど影響はない	むしろ好影響がある	わからない	その他	『上昇』											
			危機的な悪影響がある	かなり悪影響がある	多少悪影響がある					0%程度の上昇	3%程度の上昇	5%程度の上昇	10%程度の上昇	15%程度の上昇	20%程度の上昇	25%程度の上昇	30%程度の上昇	30%以上の上昇	むしろ低下	わからない	
全業		380	1.6	17.1	43.4	25.5	1.6	8.9	1.8	376	19.9	17.0	21.8	12.5	5.3	0.3	1.9	3.2	1.3	16.8	
製	業	157	1.3	20.4	48.4	21.0	1.3	7.0	0.6	157	15.3	19.1	22.9	15.9	6.4	-	1.3	5.1	0.6	13.4	
	従業者規模	1人～4人	80	-	16.3	50.0	20.0	1.3	11.3	1.3	81	14.8	16.0	27.2	11.1	2.5	-	1.2	4.9	1.2	21.0
		5人～9人	38	2.6	18.4	52.6	23.7	-	2.6	-	38	18.4	21.1	21.1	21.1	10.5	-	-	2.6	-	5.3
		10人～19人	21	4.8	38.1	42.9	14.3	-	-	-	21	9.5	14.3	14.3	38.1	9.5	-	4.8	4.8	-	4.8
		20人～29人	7	-	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	-	6	16.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	16.7
		30人～39人	2	-	-	100.0	-	-	-	-	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		40人～49人	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		50人～99人	5	-	20.0	40.0	40.0	-	-	-	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	20.0	-	-
		100人～199人	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	問屋・商社	13	-	15.4	30.8	30.8	-	15.4	7.7	13	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	-	-	7.7	-	38.5
		大メーカー	19	-	21.1	47.4	15.8	5.3	10.5	-	19	15.8	21.1	31.6	10.5	10.5	-	-	-	-	10.5
		中小メーカー・仲間業者	98	1.0	23.5	50.0	19.4	1.0	5.1	-	98	15.3	21.4	22.4	18.4	5.1	-	2.0	6.1	-	9.2
小売業者		16	6.3	6.3	56.3	18.8	-	12.5	-	16	6.3	6.3	37.5	18.8	12.5	-	-	-	6.3	12.5	
最終需要家		10	-	20.0	40.0	40.0	-	-	-	10	40.0	20.0	-	10.0	-	-	-	10.0	-	20.0	
業況		良い	10	-	10.0	50.0	30.0	10.0	-	-	10	20.0	-	30.0	20.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0
	普通	82	-	15.9	45.1	26.8	-	11.0	1.2	82	18.3	23.2	23.2	12.2	1.2	-	1.2	3.7	-	17.1	
	悪い	64	3.1	28.1	51.6	12.5	1.6	3.1	-	64	9.4	17.2	21.9	20.3	12.5	-	1.6	6.3	1.6	9.4	
小売業	71	2.8	9.9	29.6	40.8	1.4	14.1	1.4	69	30.4	18.8	11.6	4.3	1.4	-	1.4	1.4	4.3	26.1		
従業者規模	1人～4人	56	1.8	1.8	32.1	44.6	1.8	16.1	1.8	54	35.2	22.2	7.4	1.9	-	-	-	-	3.7	29.6	
	5人～9人	8	12.5	37.5	25.0	12.5	-	12.5	-	8	25.0	12.5	37.5	-	12.5	-	-	-	-	12.5	
	10人～19人	4	-	25.0	-	75.0	-	-	-	4	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	
	20人～29人	2	-	100.0	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人～99人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	駅周辺商店街	10	10.0	20.0	30.0	40.0	-	-	-	10	40.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	-	10.0	20.0
		住宅地隣接商店街	35	-	2.9	34.3	37.1	2.9	22.9	-	34	38.2	20.6	-	2.9	2.9	-	-	-	2.9	32.4
		団地内商店街	5	-	-	80.0	-	20.0	-	-	5	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	60.0
		その他	21	4.8	19.0	28.6	38.1	-	4.8	4.8	20	20.0	20.0	30.0	5.0	-	-	5.0	5.0	5.0	10.0
業況	良い	3	-	-	100.0	-	-	-	-	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	
	普通	43	-	7.0	25.6	44.2	2.3	18.6	2.3	43	23.3	23.3	9.3	4.7	2.3	-	-	2.3	4.7	30.2	
	悪い	24	8.3	16.7	37.5	29.2	-	8.3	-	22	45.5	13.6	13.6	4.5	-	-	4.5	-	4.5	13.6	
サービス業	57	-	17.5	42.1	29.8	-	8.8	1.8	57	35.1	10.5	19.3	14.0	3.5	1.8	1.8	1.8	-	12.3		
従業者規模	1人～4人	35	-	11.4	45.7	31.4	-	11.4	-	35	40.0	8.6	28.6	11.4	-	-	-	-	-	11.4	
	5人～9人	9	-	11.1	33.3	33.3	-	11.1	11.1	9	22.2	-	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-	33.3	
	10人～19人	2	-	100.0	-	-	-	-	-	2	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	
	20人～29人	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	
	30人～39人	2	-	100.0	-	-	-	-	-	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	5	-	40.0	20.0	40.0	-	-	-	5	60.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	
	50人～99人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	業況	良い	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
普通		31	-	12.9	29.0	41.9	-	12.9	3.2	31	38.7	3.2	19.4	6.5	6.5	-	3.2	3.2	-	19.4	
悪い		23	-	26.1	56.5	13.0	-	4.3	-	23	30.4	17.4	21.7	21.7	-	4.3	-	-	-	4.3	
建設業	51	3.9	25.5	43.1	11.8	-	9.8	5.9	50	6.0	16.0	34.0	4.0	12.0	-	6.0	2.0	2.0	18.0		
従業者規模	1人～4人	20	5.0	15.0	50.0	15.0	-	5.0	10.0	20	-	15.0	35.0	5.0	-	-	5.0	5.0	5.0	30.0	
	5人～9人	13	-	46.2	30.8	-	-	15.4	7.7	12	-	16.7	50.0	-	16.7	-	-	8.3	-	8.3	
	10人～19人	8	12.5	12.5	50.0	12.5	-	12.5	-	8	-	25.0	25.0	-	25.0	-	12.5	-	-	12.5	
	20人～29人	4	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-	4	25.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	
	30人～39人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	3	-	66.7	-	-	-	33.3	-	3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	
	50人～99人	2	-	-	100.0	-	-	-	-	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	官公庁	3	-	33.3	-	66.7	-	-	-	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
大企業		9	-	44.4	33.3	-	-	22.2	-	9	-	11.1	33.3	11.1	11.1	-	11.1	-	-	22.2	
中小企業		24	4.2	25.0	37.5	12.5	-	12.5	8.3	24	4.2	12.5	25.0	-	20.8	-	4.2	4.2	4.2	25.0	
個人		12	8.3	16.7	66.7	8.3	-	-	-	12	-	25.0	58.3	8.3	-	-	8.3	-	-	-	
業況	良い	7	-	14.3	57.1	14.3	-	-	14.3	7	14.3	14.3	42.9	-	-	-	-	14.3	-	14.3	
	普通	25	-	20.0	44.0	16.0	-	16.0	4.0	24	8.3	25.0	29.2	4.2	4.2	-	-	-	4.2	25.0	
	悪い	18	11.1	38.9	38.9	5.6	-	-	5.6	18	-	-	38.9	5.6	27.8	-	16.7	-	-	11.1	

		問5 仕入先の見直し等を検討する際に重視する点										
		<見直し等を検討している>									仕入先の見直しは検討していない	
回答数		必要量・質が確保できている(値上調達含)	代替商品の調達(同等品質)	代替品の調達(品質見直しなど)	仕入れ先の変更・多角化	受注(販売)数量の制限	受注(販売)の停止	販売先への納期の調整	取扱商品の見直し(新商品など)	その他		
全業種		375	30.1	16.5	17.6	16.5	3.2	10.9	2.7	1.3	1.6	50.4
製造業	従業者規模											
	1人~4人	81	28.4	16.0	17.3	12.3	6.2	4.9	1.2	1.2	-	54.3
	5人~9人	38	47.4	26.3	23.7	26.3	-	5.3	5.3	-	5.3	34.2
	10人~19人	21	38.1	23.8	19.0	38.1	-	19.0	9.5	-	-	38.1
	20人~29人	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	66.7
	30人~39人	2	100.0	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	40人~49人	2	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	50人~99人	5	60.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	40.0
	100人~199人	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	問屋・商社	13	23.1	15.4	15.4	23.1	-	15.4	-	-	-	53.8
	大メーカー	18	55.6	38.9	33.3	22.2	-	16.7	-	-	-	22.2
	中小メーカー・仲間業者	99	37.4	17.2	16.2	20.2	5.1	8.1	6.1	1.0	2.0	47.5
小売業者	16	31.3	25.0	25.0	12.5	6.3	-	-	-	-	50.0	
最終需要家	10	40.0	30.0	10.0	40.0	-	-	-	-	-	50.0	
業況												
良い	9	44.4	22.2	22.2	33.3	-	22.2	-	-	22.2	22.2	
普通	82	31.7	20.7	14.6	18.3	4.9	3.7	3.7	1.2	-	52.4	
悪い	65	43.1	20.0	21.5	23.1	3.1	12.3	4.6	-	-	41.5	
小売業												
従業者規模												
1人~4人	55	14.5	7.3	12.7	5.5	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8	72.7	
5人~9人	8	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	50.0	
10人~19人	4	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0	
20人~29人	2	100.0	50.0	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	
30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40人~49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50人~99人	1	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	
100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形態・立地												
駅周辺商店街	10	40.0	10.0	10.0	20.0	-	20.0	10.0	10.0	-	50.0	
住宅地隣接商店街	35	14.3	5.7	14.3	5.7	2.9	2.9	-	5.7	2.9	68.6	
団地内商店街	5	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	60.0	
その他	20	20.0	15.0	10.0	15.0	-	5.0	-	-	-	70.0	
業況												
良い	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	
普通	43	11.6	7.0	7.0	9.3	-	2.3	2.3	4.7	2.3	69.8	
悪い	23	34.8	17.4	21.7	13.0	4.3	13.0	4.3	4.3	-	56.5	
サービス業												
従業者規模												
1人~4人	35	14.3	11.4	17.1	5.7	8.6	5.7	2.9	-	2.9	65.7	
5人~9人	9	44.4	-	11.1	11.1	-	22.2	-	-	11.1	44.4	
10人~19人	2	50.0	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	
20人~29人	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
30人~39人	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
40人~49人	5	40.0	-	20.0	60.0	-	20.0	-	-	-	20.0	
50人~99人	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
業況												
良い	3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	
普通	31	22.6	9.7	12.9	9.7	6.5	6.5	3.2	3.2	3.2	58.1	
悪い	22	27.3	18.2	18.2	13.6	9.1	13.6	-	-	-	45.0	
建設業												
従業者規模												
1人~4人	19	36.8	21.1	15.8	15.8	-	31.6	-	-	-	36.8	
5人~9人	12	16.7	-	33.3	16.7	-	25.0	-	-	-	50.0	
10人~19人	8	25.0	12.5	12.5	-	-	37.5	-	-	-	50.0	
20人~29人	4	50.0	50.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	
30人~39人	1	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	
40人~49人	3	66.7	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	
50人~99人	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	
100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形態・立地												
官公庁	3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	66.7	
大企業	9	33.3	33.3	22.2	55.6	-	33.3	-	-	-	33.3	
中小企業	23	39.1	21.7	21.7	4.3	-	34.8	-	-	-	39.1	
個人	12	25.0	8.3	25.0	16.7	-	16.7	-	-	-	33.3	
業況												
良い	6	-	16.7	16.7	16.7	-	50.0	-	-	-	50.0	
普通	24	33.3	25.0	25.0	16.7	-	29.2	-	-	-	33.3	
悪い	18	44.4	11.1	22.2	27.8	-	27.8	-	-	-	38.9	

東京都全体の中小企業の景況

(2022年1月～3月期)

オミクロン株の急拡大により景気回復は足踏み状態

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は、今期オミクロン株の感染拡大によるまん延防止等重点措置の適用に伴い個人消費の悪化等が見られることから、3期続いた回復基調が減速し足踏み状態となった。業況判断DIは、全体で△27.3(前期は△26.7)と前期に比べ△0.6ポイントとなった。

来期は、措置解除後の消費拡大を期待するものの、ウクライナ情勢の行方次第では、資源・エネルギー価格の高騰や物価上昇により景気が下振れする懸念がある。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-28.6	-27.2	1.4	-23.8	3.4
卸売業	-29.6	-30.6	-1.0	-25.9	4.7
小売業	-37.2	-37.3	-0.1	-32.3	5.0
サービス業	-28.6	-30.2	-1.6	-25.6	4.6
建設業	-11.4	-15.0	-3.6	-12.7	2.3
不動産業	-9.5	-13.5	-4.0	-12.6	0.9
総合	-26.7	-27.3	-0.6	-23.6	3.7

※前期(2021年10～12月) 来期(2022年4～6月)

<製造業>

化学工業や食料品を中心に需要の回復が見られ、業況は4期連続の改善となった。売上額・受注残は前期並の水準で、収益はわずかに減少した。価格面では原材料価格は世界的な高価格に伴い更に上昇を強め、販売価格も上昇に転じた。資金繰りは前期同様の厳しさで、原材料在庫は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上の停滞・減少」(46%)、「原材料高」(30%)、「同業者間の競争の激化」(19%)となった。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」(54%)、「経費を節減する」(43%)、「情報力を強化する」(15%)と続いている。

来期の業況は引き続き改善すると予想するも、最近の円安や国際情勢次第では、資源高や原材料調達の滞りなどが尾を引き、下振れする懸念がある。価格面では原材料価格の高騰は続き、販売価格は今期並の上昇水準が続くと見ている。

<小売業>

厳冬で、ガソリンスタンド・燃料では大幅な改善が見られたほか、ワクチンや市販薬の需要拡大を受けて医薬品が好調であった。一方まん延防止等重点措置に伴う個人消費の低迷により、繊維・衣服・身の回り品、飲食店の需要が落ち込み、業況の回復は進まず足踏み状態となった。売上額・収益においてはやや落ち込み、価格面では原材料の高騰や物流混乱の影響から仕入価格は上昇を強めており、販売価格も上昇に転じた。

経営上の問題点は前期同様に「売上の停滞・減少」(47%)、「大型店との競争の激化」(21%)、「同業者間の競争の激化」(20%)の順となった。重点経営施策も前期同様に「経費を節減する」(42%)、「品揃えを改善する」(27%)、「宣伝・広告を強化する」(21%)と続いている。

来期は、まん延防止等重点措置解除後の消費拡大の期待から売上額・収益の改善を予想しており、業況も水面下ながら回復を期待している。価格面では仕入価格や販売価格が上昇すると見えており、商品・サービスの値上げ等、物価上昇が先行きの懸念材料となっている。

<サービス業>

まん延防止等重点措置の適用による行動制限を受けて、個人消費を中心に落ち込みが見られており、業況は再び悪化した。売上額・収益においても悪化を強めた。価格面では材料価格が一段と上昇を強めた影響で、料金価格も上昇に転じている。資金繰りはわずかながら苦しさを強め、人手は前期同様の不足感が続いている。

経営上の問題点は前期同様に「売上の停滞・減少」(44%)、「同業者間の競争の激化」(27%)、「人手不足」(21%)が上位を占めた。重点経営施策は1位に「経費を節減する」(40%)、2位に「販路を広げる」(39%)が続き上位が入れ替わった。3位に「人材を確保する」(20%)が浮上している。

来期は業況の改善を期待するものの、コロナ感染状況の動向次第では下振れする懸念がある。売上額・収益においても悪化幅を縮小すると見ている。価格面では料金価格・材料価格ともにわずかに上昇すると見ている。

<建設業>

資材の高騰や人手不足の影響から業況は3期連続の悪化となった。売上額・受注残・施工高・収益においても悪化傾向を強めている。価格面では材料価格は一段と上昇を強め、請負価格の上昇は前期同様落ち着いた動きで推移した。

経営上の問題点は「材料価格の上昇」(44%)に続き、「人手不足」(同率の30%)となっている。重点経営施策の上位項目は「販路を広げる」(41%)、「経費を節減する」(40%)、「人材を確保する」(36%)となった。

来期の業況は若干の改善を予想するものの、建築資材の高騰・調達難や人手不足の改善等が不透明なことから、その影響次第では悪化が続く懸念もある。売上額・受注残・施工高・収益では改善が期待される。価格面では請負価格は変動なく推移し、材料価格の上昇はやや弱まると予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2022年1月～3月期)

製造業

【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-34	-27	-29	-28	-26	-14	-19	-27	-38	-43	-38	-44	-42	-37	-59	-49	-47	-27
売上額	-34	-20	-33	-20	-25	-10	-8	-16	-56	-37	-56	-37	-50	-31	-69	-43	-48	-19
受注残	-34	-18	-30	-14	-17	-7	-21	-16	-43	-31	-43	-31	-52	-33	-68	-40	-53	-22
収益	-35	-24	-34	-23	-15	-13	-29	-21	-37	-35	-37	-36	-51	-36	-66	-45	-48	-26
販売価格	4	3	1	8	1	5	16	6	4	-3	4	-3	-12	-5	7	-8	5	5
原材料価格	38	35	28	42	40	40	56	38	29	23	29	24	32	30	32	16	45	36
原材料在庫	-4	-4	1	0	-1	-4	4	-4	-10	-1	-10	-2	-2	-8	-18	-9	-2	-4
資金繰り	-14	-16	-16	-18	-5	-10	-12	-14	-21	-23	-20	-23	-17	-20	-30	-30	-6	-18
雇用																		
残業時間	-15	-5	-18	-6	-5	-2	-17	-4	-36	-10	-36	-12	-8	-5	-11	-8	-18	-3
人手	-4	-9	18	-3	0	-12	-4	-9	5	-6	5	-6	8	-11	0	-8	-12	-11
同期比																		
売上額	-31	-16	-46	-12	-23	-3	-21	-18	-41	-30	-41	-29	-58	-26	-89	-48	-29	-15
収益	-33	-20	-46	-16	-27	-7	-21	-20	-41	-32	-41	-32	-58	-30	-89	-49	-24	-22
経営上の問題点																		
① 売上の停滞・減少	53	46	55	47	64	39	50	44	55	59	55	59	50	54	78	57	47	39
② 原材料高	31	30	36	36	27	32	54	35	27	17	27	17	25	32	22	19	29	29
③ 同業者間の競争の激化	20	19	27	22	23	17	4	14	27	28	27	30	17	20	22	17	6	17
④ 利幅の縮小	15	14	18	17	9	13	13	14	18	18	18	18	25	20	11	14	-	9
⑤ 仕入先からの値上げ要請	14	9	9	11	18	9	13	8	14	9	14	9	17	10	-	8	12	6
重点経営施策																		
① 販路を広げる	58	54	46	62	77	53	42	51	82	65	82	65	50	51	67	55	35	50
② 経費を節減する	50	43	82	51	46	38	42	48	50	43	50	42	50	52	67	51	47	38
③ 情報力を強化する	17	15	9	11	9	14	21	15	18	20	18	18	17	13	22	11	6	11
④ 新製品・技術を開発する	9	11	9	22	14	13	4	6	9	11	9	10	-	4	-	10	18	16
⑤ 機械化を推進する	8	6	-	11	9	7	13	9	9	4	9	3	-	2	11	6	18	6
借入の難易度	-6	-3	0	-5	-11	2	4	3	-6	-4	-6	-3	-8	-9	-25	-13	-13	-6

【来期見通しの比較】

業況	-34	-24	-29	-27	-32	-10	-13	-22	-51	-38	-51	-39	-29	-38	-44	-45	-49	-30
売上額	-29	-16	-28	-14	-26	-5	-18	-16	-40	-28	-40	-30	-23	-24	-49	-37	-38	-23
受注残	-30	-15	-29	-13	-25	-3	-22	-17	-29	-23	-29	-24	-22	-26	-48	-37	-47	-20
収益	-28	-19	-26	-18	-16	-9	-27	-18	-30	-27	-30	-28	-24	-29	-50	-37	-32	-25
販売価格	6	4	-4	7	-2	7	12	4	7	0	7	-1	4	1	17	-7	14	8
原材料価格	35	32	25	33	27	36	50	32	28	27	28	25	32	32	34	13	45	32
原材料在庫	-3	-5	-1	-4	4	-6	1	-5	-8	-2	-8	-3	9	-3	-9	-3	-3	-5
資金繰り	-12	-14	-16	-19	-2	-8	-14	-13	-19	-19	-19	-20	-6	-19	-26	-24	-2	-18
雇用																		
残業時間	-17	-6	-18	-10	-9	-2	-17	-3	-36	-12	-36	-13	0	-6	-13	-7	-25	-6
人手	-3	-9	27	-3	0	-11	0	-8	5	-7	5	-6	8	-10	0	-7	-13	-13

* 季節変動調整済D₁を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D₁を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

【今期実績の比較】

		全体		家具・じゅう器、家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-30	-37	-37	-31	-36	-34	-43	-57
売上額		-21	-31	-34	-24	-27	-30	-34	-43
収益		-24	-32	-35	-27	-33	-30	-33	-45
販売価格		-3	1	-24	3	-10	0	-11	-9
仕入価格		11	17	-22	13	14	19	-12	5
在庫		0	0	-25	-3	1	0	-11	8
資金繰り		-9	-20	-22	-14	-17	-21	-12	-32
雇用	残業時間	-8	-6	0	-2	-7	-4	-22	-14
	人手	-1	-7	0	-7	0	-7	0	-4
同期比	売上額	-18	-25	-25	-21	-33	-23	-11	-33
	収益	-29	-28	-38	-23	-41	-26	-11	-34
	販売価格	3	2	0	4	-7	3	-11	-10
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	43	47	50	38	59	43	44	64
	② 大型店との競争の激化	29	21	50	35	19	25	33	17
	③ 同業者間の競争の激化	23	20	13	30	15	20	44	17
	④ 商店街の集客力の低下	22	15	25	9	30	16	22	21
	⑤ 利幅の縮小	14	13	13	13	11	11	-	12
重点経営施策	① 経費を節減する	37	42	63	39	41	43	22	33
	② 品揃えを改善する	29	27	25	26	37	28	22	35
	③ 宣伝・広告を強化する	19	21	13	20	19	20	22	27
	④ 売れ筋商品を取り扱う	18	16	13	17	19	20	33	17
	⑤ 商店街事業を活性化させる	12	12	25	10	11	14	11	17
借入の難易度		-13	-6	-20	6	-29	-9	-29	-11

【来期見通しの比較】

業況		-25	-32	-46	-32	-33	-31	-35	-46
売上額		-17	-22	-41	-19	-26	-22	-21	-30
収益		-20	-24	-40	-22	-31	-23	-21	-32
販売価格		1	2	-25	4	-5	3	-10	-8
仕入価格		8	14	-24	13	10	16	-12	3
在庫		-5	-1	-25	-5	-4	0	-10	3
資金繰り		-9	-18	-19	-14	-12	-18	-10	-29
雇用	残業時間	-10	-6	0	-2	-7	-5	-22	-11
	人手	-4	-7	0	-6	-4	-7	0	-5

* 季節変動調整済D・を表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-32	-30
売上額		-25	-24
収益		-28	-27
料金価格		7	1
材料価格		34	19
資金繰り		-12	-15
雇用	残業時間	-19	-7
	人手	-10	-14
同期比	売上額	-22	-18
	収益	-27	-22
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	46	44
	② 同業者間の競争の激化	27	27
	③ 人手不足	19	21
	④ 材料価格の上昇	17	12
	⑤ 利幅の縮小	17	11
重点経営施策	① 経費を節減する	41	40
	② 販路を広げる	31	39
	③ 人材を確保する	15	20
	④ 宣伝・広告を強化する	15	17
	⑤ 技術力を強化する	9	11
借入の難易度		-9	-3

【来期見通しの比較】

業況		-29	-26
売上額		-17	-17
収益		-23	-20
料金価格		5	2
材料価格		34	20
資金繰り		-12	-13
雇用	残業時間	-16	-7
	人手	-10	-15

* 季節変動調整済D・を表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

建設業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-21	-15
売上額		-18	-15
受注残		-21	-12
施工高		-8	-10
収益		-31	-20
請負価格		-9	1
材料価格		63	49
在庫		-9	-6
資金繰り		-12	-9
雇用	残業時間	-12	-5
	人手	-23	-25
同期比	売上額	-19	-12
	収益	-33	-20
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	50	44
	② 売上の停滞・減少	37	30
	③ 人手不足	23	30
	④ 同業者間の競争の激化	17	26
	⑤ 利幅の縮小	15	14
重点経営施策	① 技術力を高める	35	20
	② 経費を節減する	35	40
	③ 人材を確保する	27	36
	④ 販路を広げる	25	41
	⑤ 情報力を強化する	23	16
借入の難易度		-5	3

【来期見通しの比較】

業況		-16	-13
売上額		-14	-10
受注残		-9	-8
施工高		-3	-6
収益		-26	-15
請負価格		-2	2
材料価格		55	43
在庫		-8	-5
資金繰り		-4	-7
雇用	残業時間	-14	-5
	人手	-28	-25

江戸川区の業種別転記表

(2022年1月～3月期)

製造業

転記表 No.1

2022年1～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対 前期比	2022年 4～6月期
	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期		
業 況	良 い	3.0	7.9	4.3	3.1	4.5	2.5	3.9	1.3	1.9	1.4	5.6	2.6	5.6	6.9	7.0	8.9		5.2	
	普 通	50.7	60.5	48.5	46.6	46.8	50.7	48.4	56.7	48.1	50.0	49.1	50.7	53.1	52.9	51.9	57.6		54.5	
	悪 い	46.3	31.6	47.2	50.3	48.7	46.8	47.7	42.0	50.0	48.6	45.3	46.7	41.3	40.2	41.1	33.5		40.3	
	D・I	-43.3	-23.7	-42.9	-47.2	-44.2	-44.3	-43.8	-40.7	-48.1	-47.2	-39.7	-44.1	-35.7	-33.3	-34.1	-24.6		-35.1	
	修 正 値	-40.2	-22.1	-40.6	-43.8	-44.0	-42.8	-42.5	-39.9	-44.3	-46.0	-37.6	-40.1	-36.0	-33.1	-34.2	-26.0	1.8	-33.8	
	傾 向 値	-16.3		-25.3		-33.8		-40.7		-44.2		-44.4		-42.9		-40.6				
売 上 額	増 加	4.9	5.7	6.2	6.1	5.8	7.4	2.0	4.5	5.1	2.0	7.2	7.1	8.1	8.3	6.9	9.3		7.0	
	変 ら ず	45.1	69.0	42.6	45.7	47.1	50.6	49.6	55.5	53.5	54.4	51.4	56.1	53.4	55.0	51.6	61.5		55.7	
	減 少	50.0	25.3	51.2	48.2	47.1	42.0	48.4	40.0	41.4	43.6	41.4	36.8	38.5	36.7	41.5	29.2		37.3	
	D・I	-45.1	-19.6	-45.0	-42.1	-41.3	-34.6	-46.4	-35.5	-36.3	-41.6	-34.2	-29.7	-30.4	-28.4	-34.6	-19.9		-30.3	
	修 正 値	-42.0	-18.8	-41.4	-39.1	-41.3	-33.5	-45.7	-34.7	-32.9	-40.3	-30.7	-26.5	-31.8	-28.2	-34.2	-21.2	-2.4	-28.6	
	傾 向 値	-14.6		-23.9		-32.8		-41.0		-43.4		-40.9		-38.2		-35.4				
受 注 残	増 加	3.7	7.3	3.7	5.6	3.9	4.3	2.6	3.9	5.1	2.0	3.9	5.2	5.6	5.0	4.4	9.9		4.4	
	変 ら ず	47.0	68.3	47.5	49.3	53.5	55.6	52.3	61.0	54.8	56.8	59.4	57.4	59.6	60.4	56.6	62.1		59.5	
	減 少	49.3	24.4	48.8	45.1	42.6	40.1	45.1	35.1	40.1	41.2	36.7	37.4	34.8	34.6	39.0	28.0		36.1	
	D・I	-45.6	-17.1	-45.1	-39.5	-38.7	-35.8	-42.5	-31.2	-35.0	-39.2	-32.8	-32.2	-29.2	-29.6	-34.6	-18.1		-31.7	
	修 正 値	-42.1	-15.8	-41.4	-36.5	-40.3	-34.2	-41.5	-31.3	-30.9	-37.8	-28.7	-28.8	-31.7	-28.0	-34.1	-20.5	-2.4	-30.2	
	傾 向 値	-15.1		-24.4		-32.8		-39.9		-41.7		-38.8		-36.1		-33.9				
収 益	増 加	4.9	7.2	4.3	6.1	4.5	6.2	3.3	3.9	5.7	4.7	6.6	6.5	8.1	6.7	5.7	9.3		5.1	
	変 ら ず	46.3	66.5	45.7	45.4	49.0	52.4	48.3	57.8	53.5	54.0	55.8	58.0	52.8	60.0	53.4	62.1		60.7	
	減 少	48.8	26.3	50.0	48.5	46.5	41.4	48.4	38.3	40.8	41.3	37.6	35.5	39.1	33.3	40.9	28.6		34.2	
	D・I	-43.9	-19.1	-45.7	-42.4	-42.0	-35.2	-45.1	-34.4	-35.1	-36.6	-31.0	-29.0	-31.0	-26.6	-35.2	-19.3		-29.1	
	修 正 値	-41.0	-18.0	-42.5	-38.7	-42.6	-34.1	-44.1	-34.7	-32.4	-36.0	-27.7	-25.0	-32.4	-26.6	-34.5	-21.1	-2.1	-28.2	
	傾 向 値	-15.8		-25.1		-33.7		-41.0		-43.1		-40.1		-36.9		-34.3				
価 格 動 向	販 売 価 格	-12.8	-3.6	-16.1	-15.3	-10.9	-8.6	-7.2	-7.7	-5.1	-6.7	-4.4	-4.5	1.2	-2.2	6.3	1.3		7.6	
	〃 修 正 値	-11.3	-3.4	-14.7	-14.3	-12.1	-8.3	-8.0	-8.3	-4.1	-7.1	-3.3	-3.6	-0.8	-3.0	3.8	0.1	4.6	5.7	
	〃 傾 向 値	-1.1		-4.4		-8.1		-10.9		-10.8		-8.4		-5.4		-2.2				
	原 材 料 価 格	1.8	12.4	-3.1	-0.6	1.3	4.9	14.4	3.9	16.6	12.0	27.1	15.4	32.3	22.2	43.4	28.5		38.6	
	〃 修 正 値	2.1	13.5	-1.3	0.9	1.2	5.2	12.5	3.3	15.3	10.7	26.7	15.5	30.7	20.5	38.0	26.1	7.3	34.6	
	〃 傾 向 値	14.7		10.1		5.9		3.8		5.5		11.1		18.7		26.2				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	-0.6	-1.5	-1.9	-3.7	-2.5	2.5	-3.3	0.7	-3.2	-4.0	-2.2	-2.6	-2.4	-1.7	-4.4	-1.2		-3.8	
	〃 修 正 値	-1.8	-0.9	-1.7	-4.7	-1.1	1.9	-3.0	1.6	-3.9	-3.1	-1.8	-2.8	-1.3	-2.6	-3.9	-0.7	-2.6	-2.6	
	資 金 繰 り	-31.9	-12.9	-25.9	-32.5	-12.3	-17.3	-13.1	-13.7	-14.6	-15.4	-11.6	-13.5	-14.9	-11.7	-13.8	-15.6		-12.1	
〃 修 正 値	-31.1	-11.4	-25.8	-31.4	-12.6	-18.2	-12.5	-13.8	-13.2	-14.2	-11.8	-11.6	-15.4	-13.1	-13.6	-15.6	1.8	-11.5		
前 年 同 期 比	売 上 額	-49.4		-48.8		-49.1		-49.6		-35.0		-29.3		-23.6		-31.4				
	収 益	-47.0		-48.2		-43.2		-47.6		-31.8		-28.2		-29.8		-33.3				
雇 用 人 手	残 業 時 間	-25.6	-4.7	-17.9	-20.8	-22.1	-16.9	-20.9	-17.0	-20.7	-17.9	-16.0	-18.4	-14.3	-15.7	-15.1	-13.7		-17.2	
	〃 傾 向 値	0.0		-15.7		1.2		-5.4		-3.2		0.0		-0.7		-3.9				
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	30.7	13.5	34.0	20.6	29.0	15.1	22.2	11.2	21.0	5.3	19.9	8.4	14.3	8.9	10.1	8.2		11.5	
	借入しない/借入の予定なし(%)	69.3	86.5	66.0	79.4	71.0	84.9	77.8	88.8	79.0	94.7	80.1	91.6	85.7	91.1	89.9	91.8		88.5	
	借 入 難 易 度	-3.5		-3.5		-4.4		2.2		-1.4		-6.3		-10.1		-6.4				
有効回答事業所数		164		162		156		154		157		181		161		159				

製造業

転記表 No.2

2022年1～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対	2022年		
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	前期比	4～6月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-4.2	-4.7	-2.5	-4.9	-1.3	-4.4	-6.6	-2.7	-3.2	-6.7	-2.3	-5.2	-2.5	-3.3	-3.8	-3.8			-3.9		
	実施した・予定あり	9.4	14.1	10.7	11.2	11.3	10.3	10.7	10.7	13.0	8.2	9.0	8.0	11.4	9.2	8.9	5.2			9.2		
	事業用土地・建物	20.0	23.1	11.8	23.5	17.6	25.0	12.5	12.5	10.0	16.7	-	8.3	11.1	6.3	-	-				7.1	
	機械・設備の新・増設	26.7	30.8	35.3	23.5	35.3	31.3	25.0	50.0	40.0	33.3	25.0	33.3	11.1	18.8	14.3	25.0				14.3	
	機械・設備の更改	33.3	26.9	11.8	47.1	29.4	25.0	25.0	31.3	25.0	25.0	25.0	25.0	27.8	43.8	35.7	25.0				42.9	
	事務機器	13.3	23.1	29.4	11.8	23.5	18.8	18.8	18.8	10.0	25.0	31.3	16.7	27.8	25.0	64.3	12.5					21.4
	車両	46.7	23.1	58.8	29.4	47.1	31.3	43.8	31.3	55.0	16.7	43.8	41.7	27.8	25.0	21.4	37.5					28.6
	その他	-	-	-	-	5.9	-	12.5	-	-	8.3	-	-	5.6	-	-	12.5					-
	実施しない・予定なし	90.6	85.9	89.3	88.8	88.7	89.7	89.3	89.3	87.0	91.8	91.0	92.0	88.6	90.8	91.1	94.8					90.8
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	49.4		54.9		48.7		48.7		53.5		54.1		49.7		52.8						
	人手不足	8.5		9.3		9.6		9.1		8.3		8.8		9.3		7.5						
	大手企業との競争の激化	8.5		8.0		10.9		6.5		8.3		8.3		10.6		9.4						
	同業者間の競争の激化	17.1		19.1		18.6		18.8		17.8		18.2		18.0		19.5						
	親企業による選別の強化	1.2		1.9		1.3		1.3		1.3		1.7		0.6		0.6						
	輸入製品との競争の激化	3.7		3.7		3.2		3.2		3.2		3.3		2.5		2.5						
	合理化の不足	3.0		3.1		3.8		4.5		2.5		2.2		3.1		3.1						
	利幅の縮小	13.4		8.6		14.7		13.6		13.4		9.4		13.0		15.1						
	原材料高	11.6		8.0		10.3		11.7		17.8		23.2		23.6		31.4						
	販売納入先からの値下げ要請	8.5		8.0		6.4		4.5		5.1		4.4		5.6		2.5						
	仕入先からの値上げ要請	0.6		1.9		3.2		1.3		6.4		8.3		8.7		13.8						
	人件費の増加	3.7		3.7		6.4		3.9		3.8		3.3		3.1		4.4						
	人件費以外の経費の増加	2.4		2.5		0.6		1.9		1.3		1.7		1.9		-						
	工場・機械の狭小・老朽化	8.5		6.2		7.7		7.1		3.2		7.2		6.2		8.2						
	生産能力の不足	1.8		4.9		5.8		4.5		1.9		3.9		2.5		3.1						
	下請の確保難	5.5		3.1		1.9		1.9		1.3		3.9		3.1		3.8						
	代金回収の悪化	0.6		1.2		0.6		1.3		0.6		0.6		-		0.6						
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-						
	天候の不順	1.2		-		-		0.6		-		1.7		0.6		-						
	地場産業の衰退	1.2		2.5		1.9		2.6		3.2		2.2		2.5		1.9						
大手企業・工場の縮小・撤退	1.8		3.1		3.2		1.3		1.9		2.8		1.9		2.5							
為替レートの変動	-		-		-		-		0.6		-		-		-							
その他	7.3		4.3		3.2		2.6		1.9		3.9		2.5		3.1							
問題なし	12.2		10.5		11.5		13.0		9.6		8.3		12.4		5.7							
重点経営施策(%)	販路を広げる	53.0		51.9		53.2		52.6		53.5		56.9		55.9		57.9						
	経費を節減する	39.6		46.3		48.1		46.8		51.0		49.2		49.1		50.3						
	情報力を強化する	12.2		14.8		16.7		13.6		17.2		14.9		15.5		17.0						
	新製品・技術を開発する	9.1		8.6		8.3		7.8		8.3		6.6		10.6		9.4						
	不採算部門を整理・縮小する	3.7		3.1		3.2		3.9		3.2		2.8		1.9		3.1						
	提携先を見つける	7.3		4.3		7.7		5.2		7.6		7.2		5.0		5.7						
	機械化を推進する	4.9		6.8		6.4		5.8		7.0		5.0		5.0		8.2						
	人材を確保する	8.5		9.3		7.7		5.8		5.1		8.3		8.7		6.9						
	パート化を図る	1.2		0.6		1.3		0.6		1.3		2.2		0.6		0.6						
	教育訓練を強化する	3.0		3.7		3.2		1.3		1.3		3.3		3.7		5.0						
	労働条件を改善する	3.0		1.9		2.6		1.9		2.5		3.3		1.9		3.1						
	工場・機械を増設・移転する	4.9		1.9		1.9		2.6		2.5		1.7		2.5		1.3						
	不動産の有効活用を図る	-		-		0.6		0.6		0.6		-		-		1.3						
	その他	1.8		-		-		0.6		-		-		-		0.6						
特になし	18.3		16.7		14.1		13.6		10.8		9.9		14.3		10.7							
有効回答事業所数		164		162		156		154		157		181		161		159						

小売業

転記表 No.1

2022年1~3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対 前期比	2022年 4~6月期
	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	1月~3月期	1月~3月期			
業 況	良 い	8.5	3.7	5.6	1.4	4.2	2.9	6.9	-	4.2	1.4	3.7	1.4	2.7	1.3	4.2	5.4			2.8
	普 通	46.4	56.8	52.1	60.0	56.9	52.8	48.7	57.1	60.6	52.8	58.0	65.7	58.1	59.5	61.1	56.8			66.6
	悪 い	45.1	39.5	42.3	38.6	38.9	44.3	44.4	42.9	35.2	45.8	38.3	32.9	39.2	39.2	34.7	37.8			30.6
	D・I	-36.6	-35.8	-36.7	-37.2	-34.7	-41.4	-37.5	-42.9	-31.0	-44.4	-34.6	-31.5	-36.5	-37.9	-30.5	-32.4			-27.8
	修正値	-37.8	-33.3	-37.1	-38.6	-33.2	-42.3	-37.2	-41.9	-32.7	-41.8	-35.4	-34.1	-35.1	-38.9	-29.5	-31.9	5.6		-24.6
	傾 向 値	-30.0		-32.7		-34.1		-35.3		-35.7		-34.7		-34.7		-34.0				
売 上 額	増 加	4.2	7.1	4.2	4.2	5.6	5.7	4.2	-	4.2	-	4.9	1.4	2.7	5.0	6.9	1.4			4.1
	変 ら ず	46.5	65.5	50.7	56.4	51.3	52.9	47.2	59.7	56.4	51.4	58.1	64.3	67.6	65.0	65.3	71.2			72.6
	減 少	49.3	27.4	45.1	39.4	43.1	41.4	48.6	40.3	39.4	48.6	37.0	34.3	29.7	30.0	27.8	27.4			23.3
	D・I	-45.1	-20.3	-40.9	-35.2	-37.5	-35.7	-44.4	-40.3	-35.2	-48.6	-32.1	-32.9	-27.0	-25.0	-20.9	-26.0			-19.2
	修正値	-43.6	-18.4	-39.9	-33.6	-37.6	-36.5	-43.6	-39.8	-33.9	-46.4	-32.4	-32.2	-28.0	-27.1	-20.7	-26.5	7.3		-17.1
	傾 向 値	-20.1		-27.9		-33.0		-38.5		-40.7		-38.4		-36.0		-31.7				
収 益	増 加	5.6	6.0	4.2	4.2	5.6	4.3	2.8	1.4	4.2	-	4.9	1.4	4.1	3.8	4.1	1.4			1.4
	変 ら ず	50.7	63.9	50.7	60.6	50.0	52.8	50.0	58.3	59.2	51.4	56.8	64.3	66.2	63.7	65.8	69.8			73.9
	減 少	43.7	30.1	45.1	35.2	44.4	42.9	47.2	40.3	36.6	48.6	38.3	34.3	29.7	32.5	30.1	28.8			24.7
	D・I	-38.1	-24.1	-40.9	-31.0	-38.8	-38.6	-44.4	-38.9	-32.4	-48.6	-33.4	-32.9	-25.6	-28.7	-26.0	-27.4			-23.3
	修正値	-36.4	-21.2	-40.2	-28.9	-39.6	-39.0	-42.7	-40.2	-32.0	-45.4	-33.2	-31.9	-27.4	-29.5	-24.0	-29.9	3.4		-19.9
	傾 向 値	-19.9		-26.2		-31.9		-37.7		-39.8		-38.2		-35.6		-31.7				
価 格 動 向	販 売 価 格	-16.9	1.2	-8.5	-16.9	-8.3	-10.0	-5.5	-13.9	-2.8	-11.1	1.3	-5.7	-1.3	0.0	-2.8	0.0			0.0
	〃 修正値	-14.5	2.2	-6.8	-15.4	-10.8	-9.5	-5.8	-14.2	-1.5	-10.6	1.5	-5.1	-3.7	-1.4	-2.6	-1.1	1.1		0.5
	〃 傾 向 値	1.6		-2.1		-6.1		-9.3		-8.0		-5.1		-3.0		-1.7				
	仕 入 価 格	-12.7	10.7	-7.1	-11.5	-5.5	-8.6	1.3	-8.3	2.9	-4.1	7.4	0.0	13.5	6.2	12.4	12.3			8.3
	〃 修正値	-10.1	11.1	-4.0	-9.6	-7.4	-6.2	0.0	-9.1	4.4	-5.0	8.5	0.5	10.6	6.6	11.1	10.2	0.5		7.7
	〃 傾 向 値	9.3		4.1		-1.0		-5.0		-4.1		-0.3		3.9		7.7				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-5.7	1.2	-1.5	-7.1	-1.4	-2.9	-2.8	-1.3	5.7	-2.8	0.0	0.0	-4.0	0.0	-1.4	-5.5			-6.9
	〃 修正値	-6.4	1.9	-0.3	-7.2	-2.2	-1.9	-1.6	-2.5	4.0	-2.0	1.1	-0.3	-4.4	0.8	-0.1	-6.3	4.3		-5.4
	資 金 繰 り	-29.6	-14.3	-18.3	-25.4	-15.2	-18.6	-19.4	-13.8	-8.5	-19.4	-13.6	-10.0	-14.8	-12.5	-8.2	-15.1			-9.6
	〃 修正値	-28.9	-14.2	-18.6	-24.6	-16.5	-20.4	-19.7	-14.9	-8.4	-18.3	-14.3	-9.7	-15.2	-14.3	-8.7	-15.2	6.5		-9.0
前 年 同 期 比	売 上 額	-45.1		-43.7		-34.7		-40.2		-25.3		-30.8		-22.9		-17.8				
	収 益	-40.9		-42.3		-36.1		-43.0		-28.2		-32.1		-28.3		-28.8				
	販 売 価 格	-12.8		-7.1		-12.5		-11.1		-1.4		6.1		5.4		2.7				
雇 用	残 業 時 間	-18.5	-5.9	-14.3	-15.7	-7.1	-15.9	-13.9	-9.9	-8.6	-9.9	-8.7	-5.7	-8.2	-6.3	-8.2	-6.8			-9.6
	人 手	-7.2	-8.3	-4.2	-4.4	-4.2	-2.8	-2.8	-4.2	-2.9	-1.4	2.5	-4.3	-1.4	0.0	-1.4	-2.7			-4.1
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	21.7	9.4	25.4	13.0	21.1	7.0	17.1	7.0	16.9	7.1	17.5	5.7	17.6	6.3	11.0	4.1			5.5
	借入しな/借入の予定なし(%)	78.3	90.6	74.6	87.0	78.9	93.0	82.9	93.0	83.1	92.9	82.5	94.3	82.4	93.7	89.0	95.9			94.5
	借入難易度	-10.9		0.0		-12.5		-12.5		-11.1		-20.6		-8.2		-12.5				
有効回答事業所数		74		71		72		72		71		81		74		73				

小売業

転記表 No.2

2022年1～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対	2022年
	4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		前期比	4～6月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	-4.3	-2.3	-7.0	-5.8	-4.3	-4.4	-7.1	-5.7	-5.7	-8.5	-4.9	-5.7	-6.7	-7.5	-5.5	-5.5			-6.9
	実施した・予定あり	6.2	6.1	9.0	3.1	4.6	9.1	2.9	4.7	6.0	2.9	6.9	9.1	5.5	7.2	10.0	4.1			7.4
	事業用土地・建物	25.0	20.0	16.7	-	-	16.7	-	-	50.0	-	20.0	50.0	-	20.0	28.6	33.3			20.0
	事務機器	25.0	20.0	16.7	50.0	-	33.3	-	33.3	-	100.0	20.0	-	50.0	-	14.3	33.3			-
	車両	25.0	40.0	50.0	50.0	33.3	33.3	50.0	-	50.0	50.0	40.0	16.7	75.0	60.0	57.1	33.3			20.0
	その他	25.0	20.0	33.3	50.0	66.7	33.3	50.0	66.7	25.0	-	40.0	33.3	-	40.0	14.3	-			60.0
	実施しない・予定なし	93.8	93.9	91.0	96.9	95.4	90.9	97.1	95.3	94.0	97.1	93.1	90.9	94.5	92.8	90.0	95.9			92.6
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	45.9		59.2		50.0		45.8		47.9		40.7		39.2		42.5				
	人手不足	4.1		1.4		4.2		2.8		4.2		4.9		2.7		5.5				
	同業者間の競争の激化	17.6		22.5		27.8		26.4		28.2		29.6		18.9		23.3				
	大型店との競争の激化	31.1		28.2		23.6		25.0		28.2		17.3		23.0		28.8				
	輸入製品との競争の激化	1.4		-		-		-		-		1.2		1.4		1.4				
	利幅の縮小	6.8		7.0		11.1		8.3		8.5		11.1		9.5		13.7				
	取扱商品の陳腐化	1.4		1.4		5.6		6.9		8.5		3.7		4.1		4.1				
	販売商品の不足	4.1		2.8		2.8		1.4		1.4		2.5		2.7		1.4				
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	2.7		5.6		2.8		4.2		2.8		8.6		10.8		6.8				
	人件費の増加	1.4		-		-		-		-		1.2		1.4		1.4				
	人件費以外の経費の増加	4.1		2.8		1.4		1.4		1.4		1.2		2.7		1.4				
	取引先の減少	5.4		7.0		4.2		6.9		2.8		3.7		6.8		4.1				
	商圏人口の減少	-		-		4.2		5.6		5.6		3.7		4.1		2.7				
	商店街の集客力の低下	12.2		14.1		15.3		16.7		12.7		11.1		14.9		21.9				
	店舗の狭小・老朽化	2.7		4.2		4.2		4.2		5.6		4.9		2.7		2.7				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		1.2		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		2.5		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	-		5.6		2.8		2.8		1.4		4.9		4.1		4.1				
地場産業の衰退	-		-		1.4		-		1.4		3.7		1.4		1.4					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		1.4		-		-		-		-		-		-					
その他	4.1		4.2		1.4		4.2		1.4		-		1.4		1.4					
問題なし	13.5		8.5		16.7		13.9		16.9		16.0		23.0		15.1					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	21.6		25.4		29.2		27.8		29.6		28.4		24.3		28.8				
	経費を節減する	32.4		45.1		36.1		36.1		38.0		40.7		32.4		37.0				
	宣伝・広告を強化する	23.0		15.5		22.2		22.2		22.5		13.6		16.2		19.2				
	新しい事業を始める	1.4		1.4		4.2		4.2		1.4		-		-		1.4				
	店舗・設備を改装する	-		4.2		4.2		1.4		2.8		3.7		2.7		5.5				
	仕入先を開拓・選別する	4.1		4.2		6.9		4.2		5.6		7.4		8.1		4.1				
	営業時間を延長する	2.7		1.4		2.8		-		-		-		-		1.4				
	売れ筋商品を取り扱う	17.6		18.3		18.1		15.3		19.7		18.5		21.6		17.8				
	商店街事業を活性化させる	13.5		8.5		11.1		12.5		7.0		9.9		13.5		12.3				
	機械化を推進する	-		1.4		4.2		1.4		2.8		1.2		1.4		2.7				
	人材を確保する	4.1		2.8		5.6		1.4		-		1.2		1.4		5.5				
	パート化を図る	1.4		1.4		1.4		1.4		1.4		-		-		1.4				
	教育訓練を強化する	1.4		1.4		-		-		-		-		-		1.4				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	2.7		1.4		2.8		-		5.6		3.7		4.1		1.4				
	その他	-		1.4		1.4		2.8		-		-		-		-				
特になし	23.0		19.7		19.4		22.2		23.9		24.7		35.1		23.3					
有効回答事業所数		74		71		72		72		71		81		74		73				

サービス業

転記表 No.1

2022年1～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対 前期比	2022年 4～6月期
	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期		
業 況	良 い	1.7	7.1	1.9	1.8	1.9	1.9	-	-	-	3.6	6.2	-	10.2	9.4	5.1	10.2			3.4
	普 通	41.4	67.2	49.0	44.6	52.8	50.9	43.9	59.3	57.7	50.9	55.3	65.4	52.5	60.9	55.9	59.3			63.8
	悪 い	56.9	25.7	49.1	53.6	45.3	47.2	56.1	40.7	42.3	45.5	38.5	34.6	37.3	29.7	39.0	30.5			32.8
	D・I	-55.2	-18.6	-47.2	-51.8	-43.4	-45.3	-56.1	-40.7	-42.3	-41.9	-32.3	-34.6	-27.1	-20.3	-33.9	-20.3			-29.4
	修 正 値	-53.7	-19.6	-46.8	-48.8	-42.4	-44.4	-55.1	-40.6	-40.1	-42.0	-32.9	-31.4	-27.7	-21.8	-32.2	-21.6	-4.5	-29.2	
	傾 向 値	-10.9		-23.7		-34.4		-44.9		-48.9		-45.4		-41.5		-36.7				
売 上 額	増 加	3.4	7.1	-	3.5	1.9	1.9	-	5.6	1.9	3.5	10.8	-	15.3	12.3	11.9	15.3			8.5
	変 ら ず	37.9	65.8	50.9	35.1	44.4	52.8	47.4	55.5	55.8	52.6	52.3	71.2	49.1	56.9	50.8	57.6			64.4
	減 少	58.7	27.1	49.1	61.4	53.7	45.3	52.6	38.9	42.3	43.9	36.9	28.8	35.6	30.8	37.3	27.1			27.1
	D・I	-55.3	-20.0	-49.1	-57.9	-51.8	-43.4	-52.6	-33.3	-40.4	-40.4	-26.1	-28.8	-20.3	-18.5	-25.4	-11.8			-18.6
	修 正 値	-54.5	-19.3	-48.4	-55.2	-50.0	-42.4	-51.3	-34.7	-38.7	-38.9	-28.7	-25.2	-19.5	-21.2	-24.9	-15.8	-5.4	-17.3	
	傾 向 値	-13.8		-25.5		-36.7		-47.2		-50.3		-45.6		-38.8		-31.5				
収 益	増 加	3.4	7.2	-	3.4	1.9	1.9	-	5.6	3.8	1.8	7.7	3.8	13.6	9.2	8.5	13.6			6.8
	変 ら ず	36.2	66.7	52.8	34.5	44.4	50.9	47.4	53.7	57.7	52.6	53.8	65.4	47.4	58.5	54.2	57.6			62.7
	減 少	60.4	26.1	47.2	62.1	53.7	47.2	52.6	40.7	38.5	45.6	38.5	30.8	39.0	32.3	37.3	28.8			30.5
	D・I	-57.0	-18.9	-47.2	-58.7	-51.8	-45.3	-52.6	-35.1	-34.7	-43.8	-30.8	-27.0	-25.4	-23.1	-28.8	-15.2			-23.7
	修 正 値	-56.5	-18.2	-46.1	-56.3	-50.4	-43.3	-50.7	-36.6	-33.9	-42.6	-31.5	-23.8	-25.3	-22.7	-27.8	-19.8	-2.5	-23.3	
	傾 向 値	-15.9		-27.2		-37.6		-47.7		-49.4		-44.5		-39.2		-32.9				
価 格 動 向	料 金 価 格	-20.7	-1.5	-5.6	-20.7	-5.6	-1.9	-12.2	-1.9	-9.6	-8.8	-1.5	-5.8	3.4	0.0	8.5	3.4			6.8
	〃 修 正 値	-19.2	-2.7	-6.4	-18.2	-7.1	-3.7	-11.1	-3.3	-6.5	-8.2	-2.8	-2.1	-0.1	-2.5	7.0	1.0	7.1	5.4	
	〃 傾 向 値	1.5		-2.5		-5.5		-9.2		-9.6		-7.7		-6.1		-2.4				
	材 料 価 格	-3.5	21.8	7.7	1.7	5.6	7.7	7.0	11.1	5.8	12.2	17.0	5.8	25.4	18.5	39.0	28.8			39.0
	〃 修 正 値	-1.6	22.4	7.5	1.0	5.0	7.4	5.8	10.7	8.3	11.5	15.7	6.4	21.7	17.2	34.0	25.3	12.3	34.4	
	〃 傾 向 値	17.2		13.2		9.7		5.8		5.4		7.7		11.3		17.8				
資 金 繰 り	資 金 繰 り	-43.1	-21.8	-35.8	-43.1	-22.2	-24.5	-31.6	-11.1	-17.3	-22.8	-13.8	-13.5	-15.2	-10.9	-13.5	-11.8			-13.5
	〃 修 正 値	-39.7	-20.0	-34.8	-40.8	-24.6	-23.3	-29.6	-15.3	-14.5	-20.8	-14.2	-11.3	-18.4	-10.9	-11.9	-16.6	6.5	-11.8	
前 年 同 期 比	売 上 額	-62.1		-56.6		-53.6		-59.6		-34.7		-29.2		-18.7		-22.0				
	収 益	-62.1		-60.4		-57.3		-54.4		-34.6		-32.3		-22.0		-27.1				
雇 用	残 業 時 間	-36.3	-4.4	-24.5	-29.8	-20.4	-18.9	-31.5	-20.4	-21.2	-24.5	-18.5	-17.6	-8.5	-12.3	-18.6	-11.9			-15.5
	人 手	-3.5	-13.3	-15.1	-5.3	-9.3	-15.1	-5.2	-9.3	-11.6	-10.5	-10.7	-11.8	-13.8	-12.3	-10.2	-13.8			-10.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	31.5	10.3	35.3	22.8	26.4	9.8	16.1	9.3	13.7	7.0	15.4	12.0	13.8	9.2	8.6	13.8			8.9
	借入しない/借入の予定なし(%)	68.5	89.7	64.7	77.2	73.6	90.2	83.9	90.7	86.3	93.0	84.6	88.0	86.2	90.8	91.4	86.2			91.1
	借 入 難 易 度	-4.5		0.0		-4.8		-8.7		-10.0		-10.4		-2.3		-9.3				
有効回答事業所数		58		54		55		57		52		65		59		59				

サービス業

転記表 No.2

2022年1～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対 前期比	2022年 4～6月期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期			
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-8.7	-4.6	-9.6	-10.7	-3.7	-9.8	-5.5	-3.7	-3.9	-5.5	-4.7	-1.9	-6.9	-6.3	-6.8	-6.9			-8.7
	実施した・予定あり	8.9	15.2	10.0	10.9	9.4	12.2	10.7	7.5	9.6	8.9	14.3	5.9	19.3	12.7	5.2	15.8			12.5
	事業用土地・建物	20.0	20.0	40.0	16.7	20.0	16.7	16.7	50.0	60.0	40.0	44.4	66.7	27.3	12.5	66.7	22.2			42.9
	機械・設備の新・増設	-	30.0	40.0	-	40.0	16.7	50.0	25.0	80.0	60.0	44.4	33.3	54.5	50.0	33.3	66.7			42.9
	機械・設備の更改	-	10.0	40.0	16.7	-	33.3	-	-	20.0	-	33.3	66.7	27.3	-	-	11.1			-
	事務機器	80.0	30.0	20.0	16.7	20.0	33.3	16.7	-	-	-	11.1	-	9.1	25.0	-	11.1			14.3
	車両	60.0	50.0	20.0	66.7	40.0	50.0	50.0	50.0	20.0	40.0	44.4	33.3	36.4	50.0	33.3	33.3			42.9
	その他	-	10.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-			-
	実施しない・予定なし	91.1	84.8	90.0	89.1	90.6	87.8	89.3	92.5	90.4	91.1	85.7	94.1	80.7	87.3	94.8	84.2			87.5
経営上 の問題 点 (%)	売上の停滞・減少	62.1		55.6		49.1		49.1		53.8		46.2		42.4		45.8				
	人手不足	12.1		11.1		9.1		12.3		9.6		10.8		15.3		18.6				
	同業者間の競争の激化	32.8		25.9		25.5		29.8		28.8		30.8		32.2		27.1				
	大企業との競争の激化	5.2		11.1		10.9		12.3		9.6		4.6		6.8		8.5				
	合理化の不足	-		-		-		-		-		1.5		-		-				
	利幅の縮小	12.1		14.8		10.9		8.8		13.5		12.3		13.6		16.9				
	取扱事務の陳腐化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	材料価格の上昇	-		5.6		3.6		8.8		3.8		9.2		16.9		16.9				
	料金の値下げ要請	3.4		3.7		1.8		-		-		3.1		-		-				
	人件費の増加	8.6		1.9		10.9		3.5		1.9		6.2		10.2		5.1				
	人件費以外の経費の増加	1.7		-		-		-		-		-		1.7		3.4				
	技術力の不足	-		-		-		-		1.9		1.5		1.7		-				
	取引先の減少	12.1		9.3		12.7		14.0		9.6		9.2		10.2		6.8				
	商圏人口の減少	3.4		1.9		3.6		1.8		3.8		3.1		1.7		-				
	地価の高騰	-		-		1.8		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	1.7		1.9		-		1.8		1.9		-		1.7		1.7				
	店舗・設備の狭小・老朽化	3.4		9.3		5.5		7.0		9.6		4.6		10.2		5.1				
	代金回収の悪化	3.4		-		1.8		-		-		-		-		-				
	天候の不順	-		3.7		1.8		1.8		3.8		7.7		3.4		5.1				
	地場産業の衰退	-		-		1.8		-		-		1.5		1.7		1.7				
大手企業・工場の縮小・撤退	1.7		5.6		-		-		1.9		-		-		-					
その他	8.6		1.9		7.3		5.3		7.7		7.7		5.1		10.2					
問題なし	6.9		13.0		14.5		21.1		15.4		15.4		15.3		13.6					
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	37.9		40.7		32.7		28.1		36.5		38.5		37.3		30.5				
	経費を節減する	43.1		38.9		38.2		40.4		38.5		41.5		37.3		40.7				
	宣伝・広告を強化する	31.0		24.1		20.0		21.1		17.3		18.5		22.0		15.3				
	新しい事業を始める	1.7		3.7		1.8		1.8		3.8		-		-		3.4				
	店舗・設備を改装する	1.7		5.6		10.9		7.0		9.6		4.6		5.1		5.1				
	提携先を見つける	6.9		5.6		3.6		7.0		3.8		3.1		6.8		3.4				
	技術力を強化する	5.2		5.6		12.7		8.8		11.5		4.6		6.8		8.5				
	機械化を推進する	-		1.9		-		1.8		1.9		1.5		1.7		1.7				
	人材を確保する	10.3		13.0		9.1		12.3		7.7		13.8		20.3		15.3				
	パート化を図る	1.7		1.9		-		-		-		1.5		-		-				
	教育訓練を強化する	3.4		3.7		9.1		5.3		3.8		7.7		10.2		6.8				
	労働条件を改善する	5.2		3.7		7.3		5.3		5.8		6.2		1.7		3.4				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		1.9		-		1.7		1.7				
	その他	3.4		-		1.8		-		-		-		-		-				
特になし	15.5		20.4		25.5		28.1		19.2		16.9		20.3		18.6					
有効回答事業所数		58		54		55		57		52		65		59		59				

建設業

転記表 No.1

2022年1～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対 前期比	2022年 4～6月期
	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期		
業 況	良	5.7	13.6	11.5	5.7	10.2	7.8	7.0	10.2	10.6	9.3	15.0	8.5	10.7	12.1	13.7	14.5			15.7
	普通	49.0	62.7	57.7	52.8	55.1	53.0	46.5	53.1	51.1	55.8	45.0	59.6	51.8	53.4	51.0	58.2			51.0
	悪	45.3	23.7	30.8	41.5	34.7	39.2	46.5	36.7	38.3	34.9	40.0	31.9	37.5	34.5	35.3	27.3			33.3
	D・I	-39.6	-10.1	-19.3	-35.8	-24.5	-31.4	-39.5	-26.5	-27.7	-25.6	-25.0	-23.4	-26.8	-22.4	-21.6	-12.8			-17.6
	修正値	-34.8	-7.2	-17.4	-34.0	-24.5	-28.8	-39.3	-26.5	-22.3	-24.2	-24.9	-21.4	-27.0	-20.0	-20.6	-14.3	6.4		-15.8
	傾向値	-0.8		-11.2		-18.8		-26.4		-29.2		-28.5		-29.5		-27.5				
売 上 額	増	3.8	8.5	13.5	9.4	12.2	5.8	7.0	12.2	10.6	9.3	13.3	6.4	19.6	16.7	17.3	23.2			13.5
	変	47.2	71.2	50.0	43.4	47.0	57.7	44.2	49.0	42.6	58.1	41.7	63.8	50.0	51.6	44.2	50.0			55.7
	減	49.0	20.3	36.5	47.2	40.8	36.5	48.8	38.8	46.8	32.6	45.0	29.8	30.4	31.7	38.5	26.8			30.8
	D・I	-45.2	-11.8	-23.0	-37.8	-28.6	-30.7	-41.8	-26.6	-36.2	-23.3	-31.7	-23.4	-10.8	-15.0	-21.2	-3.6			-17.3
	修正値	-40.4	-4.2	-21.7	-38.0	-31.7	-28.0	-38.7	-28.0	-30.0	-19.0	-30.4	-22.7	-16.6	-12.6	-17.7	-6.8	-1.1		-13.9
	傾向値	2.1		-9.5		-19.2		-29.4		-33.5		-33.5		-32.4		-27.6				
受 注 残	増	3.8	8.5	7.7	9.4	12.5	5.8	7.0	14.6	6.4	9.3	11.9	6.4	17.9	15.3	9.6	21.4			11.5
	変	49.0	72.9	55.8	43.4	45.8	59.6	48.8	47.9	53.2	55.8	47.4	63.8	55.3	55.9	57.7	53.6			65.4
	減	47.2	18.6	36.5	47.2	41.7	34.6	44.2	37.5	40.4	34.9	40.7	29.8	26.8	28.8	32.7	25.0			23.1
	D・I	-43.4	-10.1	-28.8	-37.8	-29.2	-28.8	-37.2	-22.9	-34.0	-25.6	-28.8	-23.4	-8.9	-13.5	-23.1	-3.6			-11.6
	修正値	-38.6	-6.5	-24.7	-36.2	-31.9	-26.6	-36.0	-24.4	-28.8	-22.5	-25.2	-21.0	-14.4	-11.6	-21.1	-6.9	-6.7		-9.1
	傾向値	-1.8		-12.4		-21.1		-30.2		-33.5		-32.3		-29.8		-25.5				
収 益	増	5.7	8.5	15.4	9.4	16.3	7.7	9.3	18.4	4.3	11.6	10.0	6.4	19.6	18.3	15.4	19.6			13.5
	変	47.1	72.9	50.0	47.2	49.0	59.6	46.5	46.9	51.0	51.2	51.7	63.8	51.8	56.7	59.6	59.0			67.3
	減	47.2	18.6	34.6	43.4	34.7	32.7	44.2	34.7	44.7	37.2	38.3	29.8	28.6	25.0	25.0	21.4			19.2
	D・I	-41.5	-10.1	-19.2	-34.0	-18.4	-25.0	-34.9	-16.3	-40.4	-25.6	-28.3	-23.4	-9.0	-6.7	-9.6	-1.8			-5.7
	修正値	-37.6	-5.1	-17.6	-33.5	-22.8	-22.6	-31.6	-18.8	-34.9	-21.7	-26.6	-22.4	-15.9	-5.5	-7.7	-6.7	8.2		-2.6
	傾向値	0.2		-10.2		-17.9		-25.2		-28.4		-29.4		-29.3		-25.0				
施 工 高	増	3.8	6.8	7.7	7.5	10.2	5.8	4.7	8.2	6.4	9.3	10.0	8.5	8.9	10.0	11.5	14.3			9.6
	変	45.3	71.2	51.9	49.1	44.9	53.8	46.5	48.9	44.7	51.2	46.7	57.5	46.5	60.0	42.3	51.8			51.9
	減	50.9	22.0	40.4	43.4	44.9	40.4	48.8	42.9	48.9	39.5	43.3	34.0	44.6	30.0	46.2	33.9			38.5
	D・I	-47.1	-15.2	-32.7	-35.9	-34.7	-34.6	-44.1	-34.7	-42.5	-30.2	-33.3	-25.5	-35.7	-20.0	-34.7	-19.6			-28.9
	修正値	-43.7	-10.7	-30.0	-34.9	-37.9	-32.2	-40.2	-35.2	-37.8	-27.4	-31.7	-25.4	-38.8	-17.6	-30.5	-20.9	8.3		-25.5
	傾向値	-6.2		-17.6		-26.6		-35.6		-39.1		-38.6		-38.8		-37.7				
価 格 動 向	請負価格	-13.2	1.7	-15.4	-15.1	-22.5	-17.4	-16.3	-16.3	-27.7	-11.7	-20.0	-19.2	-8.9	-13.4	-7.8	-3.6			0.0
	修正値	-9.6	2.6	-13.1	-14.0	-23.3	-15.5	-16.5	-16.6	-24.2	-11.6	-18.6	-18.1	-11.4	-12.5	-9.4	-4.8	2.0		-1.9
	傾向値	0.8		-3.4		-8.9		-14.4		-18.7		-21.1		-19.9		-17.2				
	材料価格	15.4	31.1	15.7	11.6	16.6	15.7	14.2	14.6	32.6	14.3	34.5	32.6	66.7	38.0	68.0	64.8			60.0
	修正値	17.2	30.1	18.3	13.9	17.4	19.2	12.6	14.4	29.6	10.9	34.9	30.5	59.5	38.6	62.8	57.9	3.3		54.7
	傾向値	29.2		24.5		20.5		17.2		17.6		22.1		30.7		43.7				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-7.7	-3.5	-5.8	-9.6	-8.3	-7.8	-7.1	-4.2	-13.3	-4.8	-6.9	-6.7	-5.6	-5.2	-10.0	-3.7			-8.0
	修正値	-7.5	-2.6	-5.3	-9.1	-8.0	-7.5	-6.1	-4.4	-12.2	-4.6	-7.0	-5.9	-6.2	-4.3	-8.8	-4.6	-2.6		-7.7
	資金繰り	-17.0	-15.2	-11.6	-20.8	0.0	-11.8	-13.9	-12.5	-4.2	-13.9	-13.3	-2.1	-9.1	-18.6	-15.4	-9.1			-5.8
	修正値	-15.0	-12.5	-10.5	-19.0	-4.2	-11.6	-12.1	-15.6	-2.3	-11.1	-11.3	-1.1	-12.1	-17.1	-12.3	-12.3	-0.2		-3.5
前 年 同 期 比	売上額	-35.9		-28.8		-32.7		-34.9		-36.2		-28.9		-21.4		-19.3				
	収益	-35.9		-30.8		-40.8		-32.6		-42.5		-35.5		-35.7		-32.7				
雇 用 人 手	残業時間	-27.0	1.8	-17.4	-20.7	-18.3	-17.3	-23.3	-12.5	-14.9	-18.6	-13.4	-12.8	-7.2	-5.0	-11.5	-8.9			-13.7
	人手	-22.6	-36.2	-23.1	-30.2	-20.4	-21.2	-14.0	-18.7	-21.3	-9.3	-23.3	-17.0	-28.6	-23.3	-23.1	-30.3			-27.5
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	46.2	26.3	42.3	33.3	25.0	22.4	19.5	6.4	36.2	14.3	33.3	17.8	18.2	10.2	15.7	14.5			7.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	53.8	73.7	57.7	66.7	75.0	77.6	80.5	93.6	63.8	85.7	66.7	82.2	81.8	89.8	84.3	85.5			92.2
	借入難易度	8.7		-4.6		-2.6		-8.1		4.7		-4.1		2.2		-4.6				
有効回答事業所数		53		52		49		43		47		60		56		52				

建設業

転記表 No.2

2022年1～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		対 前期比	2022年 4～6月期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-7.8	-3.5	-2.0	-6.0	-4.3	-3.9	-4.9	-6.4	-6.5	-4.9	-6.8	-4.3	-3.7	-3.5	-6.3	-5.6		-4.3	
	実施した・予定あり	21.6	23.6	25.5	26.0	29.2	16.0	19.5	22.2	26.7	17.1	25.4	26.7	16.7	22.4	14.0	18.9		16.0	
	事業用土地・建物	27.3	23.1	7.7	7.7	-	25.0	12.5	-	25.0	14.3	26.7	33.3	22.2	23.1	-	10.0		-	
	機械・設備の新・増設	54.5	38.5	53.8	30.8	50.0	75.0	62.5	50.0	50.0	57.1	26.7	50.0	66.7	30.8	100.0	30.0		75.0	
	機械・設備の変更	18.2	7.7	23.1	30.8	35.7	25.0	37.5	40.0	33.3	14.3	26.7	33.3	44.4	30.8	28.6	40.0		25.0	
	事務機器	36.4	7.7	23.1	23.1	28.6	12.5	25.0	30.0	16.7	14.3	20.0	16.7	33.3	15.4	28.6	30.0		12.5	
	車両	45.5	38.5	53.8	46.2	57.1	37.5	37.5	70.0	33.3	71.4	53.3	58.3	55.6	61.5	57.1	60.0		50.0	
	その他	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	78.4	76.4	74.5	74.0	70.8	84.0	80.5	77.8	73.3	82.9	74.6	73.3	83.3	77.6	86.0	81.1		84.0	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	49.1		36.5		38.8		55.8		44.7		38.3		30.4		36.5			
人手不足		24.5		28.8		12.2		18.6		19.1		30.0		21.4		23.1				
大手企業との競争の激化		9.4		7.7		6.1		9.3		4.3		6.7		5.4		3.8				
同業者間の競争の激化		28.3		17.3		28.6		27.9		31.9		16.7		26.8		17.3				
親企業による選別の強化		1.9		-		-		-		-		3.3		-		1.9				
合理化の不足		3.8		3.8		4.1		4.7		4.3		1.7		1.8		1.9				
利幅の縮小		18.9		17.3		26.5		14.0		27.7		13.3		14.3		15.4				
材料価格の上昇		7.5		9.6		12.2		16.3		19.1		33.3		55.4		50.0				
下請の確保難		13.2		13.5		12.2		4.7		8.5		6.7		8.9		13.5				
駐車場・資材置場の確保難		3.8		3.8		-		-		-		-		-		-				
人件費の増加		13.2		19.2		12.2		11.6		6.4		8.3		5.4		3.8				
人件費以外の経費の増加		1.9		3.8		4.1		4.7		2.1		3.3		3.6		5.8				
技術力の不足		5.7		5.8		6.1		4.7		14.9		8.3		14.3		11.5				
代金回収の悪化		5.7		1.9		-		-		-		1.7		1.8		1.9				
天候の不順		9.4		13.5		6.1		2.3		10.6		6.7		3.6		3.8				
地場産業の衰退		1.9		-		2.0		-		-		3.3		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		3.8		8.2		-		-		1.7		-		-				
その他	11.3		7.7		2.0		4.7		6.4		6.7		5.4		5.8					
問題なし	3.8		7.7		12.2		7.0		8.5		8.3		7.1		5.8					
重点経営施策(%)	販路を広げる	37.7		34.6		42.9		39.5		38.3		40.0		35.7		25.0				
	経費を節減する	47.2		40.4		28.6		32.6		36.2		33.3		39.3		34.6				
	情報力を強化する	24.5		21.2		20.4		27.9		23.4		11.7		19.6		23.1				
	新しい工法を導入する	5.7		1.9		2.0		4.7		8.5		3.3		5.4		7.7				
	新しい事業を始める	1.9		1.9		4.1		2.3		2.1		5.0		1.8		3.8				
	技術力を高める	26.4		30.8		28.6		27.9		31.9		28.3		35.7		34.6				
	人材を確保する	22.6		32.7		32.7		25.6		29.8		33.3		23.2		26.9				
	バート化を図る	-		1.9		-		-		2.1		-		1.8		-				
	教育訓練を強化する	13.2		9.6		12.2		9.3		10.6		8.3		8.9		9.6				
	労働条件を改善する	5.7		5.8		2.0		2.3		6.4		3.3		7.1		7.7				
	不動産の有効活用を図る	3.8		-		2.0		2.3		4.3		5.0		1.8		1.9				
	その他	1.9		1.9		-		-		2.1		1.7		1.8		-				
	特になし	5.7		7.7		16.3		9.3		10.6		15.0		12.5		13.5				
有効回答事業所数		53		52		49		43		47		60		56		52				

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL:03-5662-9014 (直通)